平成 29 年度

今治市子ども議会　会議録

平成２９年８月３日

８月３日

出　席　議　員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
説明のため出席した者の職・氏名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
市議会出席議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
市議会事務局出席職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
議　事　日　程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
開　　　会
　　中村卓三議長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
　　菅良二市長の招集挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
開　　　議
日程１　議席の指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
日程２　会議録署名議員の指名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
日程３　会期の決定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
日程４　一般質問
　　藤岡　真央、川崎　杏奈　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　　　　渡辺英徳総務部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　　土岐　亮大朗、戸村　花菜　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　　　　阿部正志上下水道部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　　沖本　成海、越智　ひなの　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
　　　　垣谷光慶都市建設部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　　眞鍋　光汰、村上　ゆい　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　　髙橋　温人、越智　日満里　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
　　　　新居田昌彦農水港湾部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　　西坂　一吹、菅　百衣子　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
　　片山　愛弓、花原　達也　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　　　　林秀樹教育委員会事務局長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
　　山崎　桜、仙波　力玖　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
　　　　白石卓夫市民環境部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
休　　憩（午後２時 40 分）
再　　開（午後２時 50 分）

越智　祐介、和田　陽香里　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
八木良二教育長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
関　陽菜、中村　智沙　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
村上伸幸健康福祉部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
池田　祐也、眞鍋　めのう　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
野間　旺次朗、阿部　華　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
苅田　諒央、魚本　祈子　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
垣谷光慶都市建設部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
山口　千妃呂、並川　蓮　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
片山司企画財政部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
藤井　隼人、廣瀬　萌々香　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
安井孝産業部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
安永　大志、近藤　愛菜　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
菅良二市長の講評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51

閉　　会（午後４時 30 分）

今治市子ども議会　会議録

出　席　議　員

1番	朝倉中学校	藤岡（フジオカ）　真央（マオ）	2番	朝倉中学校	川崎（カワサキ）　杏奈（アンナ）
3番	玉川中学校	沖本（オキモト）　成海（ナルミ）	4番	玉川中学校	越智（オチ）　ひなの
5番	大西中学校	髙橋（タカハシ）　温人（ハルト）	6番	大西中学校	越智（オチ）　日満里（ヒマリ）
7番	菊間中学校	片山（カタヤマ）　愛弓（アユミ）	8番	菊間中学校	花原（ハナバラ）　達也（タツヤ）
9番	大島中学校	関（セキ）　陽菜（ヒナ）	10番	大島中学校	中村（ナカムラ）　智沙（チサ）
11番	伯方中学校	野間（ノマ）　旺次朗（オウジロウ）	12番	伯方中学校	阿部（アベ）　華（ハナ）
13番	大三島中学校	山口（ヤマグチ）　千妃呂（チヒロ）	14番	大三島中学校	並川（ナミカワ）　蓮（レン）
15番	今治東中等教育学校	山崎（ヤマサキ）　桜（サクラ）	16番	今治東中等教育学校	仙波（センバ）　力玖（リク）
17番	今治明徳中学校	安永（ヤスナガ）　大志（タイシ）	18番	今治明徳中学校	近藤（コンドウ）　愛菜（マナ）
19番	日吉中学校	苅田（カリタ）　諒央（リョオ）	20番	日吉中学校	魚本（ウオモト）　祈子（キコ）
21番	近見中学校	藤井（フジイ）　隼人（ハヤト）	22番	近見中学校	廣瀬（ヒロセ）　萌々香（モモカ）
23番	立花中学校	土岐（トキ）　亮大朗（リョウタロウ）	24番	立花中学校	戸村（トムラ）　花菜（ハナ）
25番	桜井中学校	眞鍋（マナベ）　光汰（コウタ）	26番	桜井中学校	村上（ムラカミ）　ゆい
27番	南中学校	西坂（ニシサカ）　一吹（イブキ）	28番	南中学校	菅（カン）　百衣子（モエコ）
29番	西中学校	越智（オチ）　祐介（ユウスケ）	30番	西中学校	和田（ワダ）　陽香里（ヒカリ）
31番	北郷中学校	池田（イケダ）　祐也（ユウヤ）	32番	北郷中学校	眞鍋（マナベ）　めのう

説明のため出席した者の職・氏名

市　長	菅　　良二	副市長	越智　　博
監査委員	川口義輝	教育長	八木良二
総務部長	渡辺英徳	企画財政部長	片山　　司
健康福祉部長 （兼）福祉事務所長	村上伸幸	市民環境部長	白石卓夫
産業部長	安井　　孝	農水港湾部長	新居田昌彦
都市建設部長	垣谷光慶	上下水道部長 （兼）水道部長	阿部正志
消防長	山崎秀喜	教育委員会事務局長	林　　秀樹
企画財政部次長 （兼）財政課長	越智　　透		

市議会出席議員

議長	中村卓三	副議長	谷口芳史
広報広聴特別 委員会委員長	渡辺文喜	広報広聴特別 委員会副委員長	越智　　豊
議会運営 委員会委員長	加藤　　明		

市議会事務局出席職員

局　長　　門 田 誠 五　　次　長　　秋 山 律 也
（兼）議会総務課長

議会総務課長補佐　　岡 田　　伸
（兼）議事調査室長

議　　事　　日　　程 （平成 29 年８月３日）	
日程番号	議　　事　　内　　容
1	議席の指定
2	会議録署名議員の指名
3	会期の決定
4	一般質問

○中村卓三議長

皆さんこんにちは。

今治市議会議長の中村卓三でございます。今治市子ども議会の開催にあたり、一言挨拶を申し上げます。今日は、今治市内の全ての中学校から２人ずつ、あわせて３２名の中学生にお集まりいただきました。今治市子ども議会を開かせていただきました。ようこそいらっしゃいました。心から歓迎を申し上げます。若い世代が政治に関心を持ってもらいたい。そして、私たちの今治市議会を身近に感じてもらいたい。そのような思いで昨年から始めました中学生による子ども議会です。

今日は、菅市長、今治市長さんを始め、八木教育長さんや各部の部長さんも大変お忙しいなかですが、皆様の御意見をお聞きしたい、そしてお答えしたい。こういうことで、おいでになっていただいております。

リラックスして、いろいろな、常日頃考えていることを、皆さんの目線から、質問してください。私も今日は特別に、市の理事者側の席に座らせていただいて、身近に皆さんの質問を聞かせていただきたい。応援しておりますので、是非、頑張ってください。

最後になりましたが、各学校の先生方、そして保護者の皆様、こうして御支援を賜り、また御協力をいただきましたことを心から感謝を申し上げます。　本当に今日はありがとうございました。

それではこれから、私が、子ども議会の議長を指名して、子ども議会を進めていただきたいと思います。議長は、近見中学校の廣瀬萌々香議員にお願いいたします。それでは、よろしくお願いいたします。

○廣瀬萌々香子ども議会議長

私は、初めに議長をつとめます、近見中学校の廣瀬　萌々香です。よろしくお願いします。

本日の出席議員は３２名です。

ただ今から「今治市子ども議会」を開会いたします。市長から子ども議会招集のあいさつがあります。

○菅良二市長

32 名の議員の皆さん、ようこそ、今治市にお越しをいただきまして、心から歓迎申し上げます。今治市長の菅良二です。

子ども議会の、私、子ども、もう中学生で立派な、もう大人に近いという思いがしまして、子ども議会にはちょっと抵抗がありますけれども、そういった形で前回進めておりますので、子ども議会と、名前を呼ばせていただきます。この開催にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、市内、先ほど議長の、中村議長から話がありました、16 の中学校から 32 名の議員、たまたま偶然ですけれども、我が今治市議会も今 32 名。34 名だったんですけれども、2 名定数を減になりました。32 名、同じだな、と思いながら、この場から話をさしていただいております。大変、本当にあの夏休み、一番暑いときでありますけれども、この議会にご出席を賜りまして、心より改めて歓迎申し上げます。また、保護者の皆様、先生方を初め教育委員会の皆様には、子ども議会の開催にご協力をいただき、まことにありがとうございました。

皆さんは、常日頃から運動会、文化祭などの学校行事の運営や、学校生活を送る上での問題解決など、あらゆる場面において、皆さんの様々な意見を聞き、よりよい方向にしっかりとクラスや部活動をまとめるリーダーとして、ご活躍されていると伺っております。将来、社会に出た時も同じで、賛成意見、反対意見、それをよく聞き、議論や討論を重ね、物事を進めていくことが、非常に大切であり、民主主義の根幹であります。我が今治市は、市民の皆さんから選挙で選ばれた市長や議員が、予算や条例を決定し、今治市の行政を運営しております。今治の「今」を支え、「将来」にわたり発展させるために、福祉・子育て支援、教育・文化、地域の振興、環境への配慮、防災・減災、産業の活性化からまちづくりまで、あらゆる分野において、幅広く市民の皆様のご意見をお聞きし、まさにこの議場で、議論や討論を重ねています。

今日は、皆さんが、生活や地域における様々な課題や提案について質問し、市がどのような考えをしているのかをお聞きいただき、実際に体験することで、民主主義の大切な制度の一つである議会の仕組みを学んでいただければと願っております。そして、将来の、将来のいや近い将来の、今治市を担っていくだろう皆さんが、社会に参画できるようになった時に、「ずっとずっと住み続けたい“心地好い”まち　いまばり」の実現に向けて、共に考え、歩んでいけたら本当にすばらしいことだと思っております。

最後に、こども議会の皆さんが、若さあふれる元気の良い質問や意見を出し合うことにより、お互いに刺激を受け、その体験を大事にして、さらに、さらに大きく成長されることを心から期待申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　菅市長さん、ありがとうございました。
　これより本日の会議を開きます。
　本日の議事日程はお手元に配付の日程表のとおりであります。
　また、本日の「子ども議会」につきましては、報道機関などから撮影をしたいとの申し出があり、撮影を許可しておりますので、ご了承ください。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　日程第１、議席の指定を行います。
　議席は、議長において皆さんが今着席しているとおり、議席を指定いたします。
　日程第２、会議録署名議員の指名を行います。
　会議録署名議員は、12 番 阿部華議員、32 番 眞鍋めのう議員、以上二名の方を指名いたします。
　日程第３、「会期の決定」を議題とします。
　おはかりします。今治市子ども議会の会期は、本日１日としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（　「異議なし」と言う　）

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日１日と決定しました。

　日程第４、「一般質問」を行います。
　質問の順番は、各議席に配付しております一般質問順のとおりです。
　通告者の発言を順次許可いたします。
　初めに、１番朝倉中学校藤岡真央議員、２番川崎杏奈議員。

○藤岡真央議員
　朝倉中学校３年藤岡真央です。

○川崎杏奈議員
　３年川崎杏奈です。
　私たちは、近い将来起こる確率の高いと言われている南海トラフ地震や台風やゲリラ豪雨等に対する防災について質問します。
　まず、１点目として、私たちの故郷朝倉においても高齢化が進み、独居老人が増加しています。災害が起こったときには自分の力で避難することが難しい人も多くいると思いますが、各自治体で、どのように独居老人の方々の避難方法を考えられているのでしょうか。また避難経路や避難場所、その誘導方法などの周知徹底は、出来ているのでしょうか。お聞かせください。

○藤岡真央議員
　２点目として、災害時の避難場所やその数はどの程度あるのでしょうか。また、避難場所では物資の供給なども行われると思いますが、その供給方法や供給数はどのように想定されているのか教えてください。
　３点目として、災害が起こった時に学校が避難場所になる場合があると考えられますが、その時の具体的な対応、マニュアルはどのようになっているのか、中学生として協力できることはどのようなものがあるのか教えて下さい。
　以上３点についてお聞かせください。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　卓球部、キャプテンを務められて、総体でも大活躍、藤岡真央議員。そしてバレーボールの副キャプテンですか。随分２人とも頑張ってこられて、川崎杏奈議員、ご質問の「防災対策について」に関しまして、私からお答えさしていただきます。
　東日本大震災、広島の土砂災害、鬼怒川の氾濫、熊本地震と、毎年のように日本のどこかで大きな災害が起こっており、私たちはその都度、自然の脅威を痛感させられています。
　そして、この度の九州北部豪雨災害、朝倉市が主だった。で、朝倉村と今、朝倉市ですが朝倉町とは姉妹縁組、同じ朝倉といったことで、皆さん特に朝倉中学校、思いが深いと思います。その、九州北部豪雨災害については、多くの死者、また行方不明の方の捜索が続いております。心からお見舞い申し上げたいと思います。
　議員からは、３点の質問をいただきました。私からは、３点目の「学校が避難場所となった場合の具体的な対応やマニュアル、中学生として協力できることについて」にお答えいたします。
　大きな災害が発生すれば、中学校の体育館などが避難場所となります。本市では、避難所の運営を円滑に行うため、「避難所運営マニュアル」を作成しており、タイムラインに沿った避難所の開設・運営等について示しています。また、各学校でも、「学校防災マニュアル」

を作成し、災害に備えています。
　先の熊本地震では、中学生がお年寄りの代わりに配給の行列に並んであげたり、配給の水をお家まで運んであげたりと活躍している姿が紹介されていました。
　皆さんには、これからも機会を捉えて防災についてしっかり学んでいただき、家の中では家具などを固定しておいて、そして、そしていざという時には、まず自分が無事であること、家族が無事であること、さらには自分の仲間を、自分の住んでいる地域を守れる共助の、共に助ける、共助の一員となってもらいたいと願っております。今後のご活躍を期待しております。
　その他のご質問につきましては、総務部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いします。

○渡辺英徳総務部長
　藤岡真央議員、川崎杏奈議員ご質問の「防災について」のうち、１点目、２点目にお答えをいたします。
　１点目の「独居老人の方々の避難方法の考え方や避難経路、避難場所、避難誘導の周知徹底について」です。
　今治市では、独居老人の方々などの避難行動要支援者に対して、地域で安否確認や避難などの支援が行なわれる仕組みとして「今治市避難行動要支援者避難支援制度」を構築しています。この制度は、予め対象となる方々の同意を得て、対象者名簿を、自治会、自主防災組織などに提供し、災害時には地域の支え合いで避難を支援するものであります。
　また、避難経路や避難場所、その誘導方法など必要な情報は、市内全戸に配布している「今治市防災マップ」や市のホームページ、地域で実施される防災訓練などを通して周知をしています。
　２点目の「災害時の避難場所の数、避難場所への物資の供給方法や供給数の想定について」です。
　まず、「避難場所の数について」は、現在本市では、174 か所の避難所を指定をしており、そのうち、議員お住まいの朝倉地区は、朝倉中学校をはじめ８つの指定避難所があります。
　次に、「物資の供給方法や供給数の想定について」です。本市は、愛媛県が想定した南海トラフ巨大地震の避難者数を基に、別名防災倉庫、地域の拠点となる小中学校、支所の計 22 か所に、必要な物資を計画的に備蓄しています。不足するものは、大規模商業施設などの民間事業者と災害時応援協定を結び、流通在庫の活用を図ることや、市民に 7 日以上の家庭での備蓄をお願いしています。
　また、物資の供給方法については、各関係機関と協力しながら、迅速かつ円滑な供給体制を整えていきたいと考えています。以上です。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　藤岡真央議員、川崎杏奈議員。

○藤岡真央議員
　以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　以上で、藤岡真央議員と、川崎杏奈議員の一般質問を終わります。
　次に、23 番立花中学校土岐亮大朗議員、24 番戸村花菜議員。

○土岐亮大朗議員
　立花中学校３年土岐亮大朗です。

○戸村花菜議員
　３年戸村花菜です。

○土岐亮大朗議員
　僕たちは、「渇水対策について」質問します。
　６月初めに梅雨入りしたものの、今日まであまり雨が降っておらず、今後水不足が心配です。今治市の水源は、おもに玉川ダムですが、その貯水率は８月２日の時点で 57%と平均貯水率 96.1%を大きく下回っており、今後、まとまった雨量が見込めなければ、更に貯水率は低下していくと考えられます。その場合、市としてどのような対策を考えられていますか、お聞かせください。

○戸村花菜議員
　また、私たちが生まれる前の平成６年には大規模な渇水があったことを父母や先生から聞きました。学校でも、水を使う拭き掃除を控えたり、雨水を貯めて鉢の植木にやったり、給食が食器を使わない簡単な軽食になったりしたそうです。もし、また大規模な渇水が起こった場合、私たち市民が協力することのできる渇水対策について教えていただきたいと思います。以上で私たちの質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　２人とも生徒会の役員として、後輩また学校全体の指導をしっかりとしてくれているようでありますし、土岐議員はサッカー部でディフェンダー、そして戸村さんは、創作、フォークダンス創作ができるし、美術も随分と、佳作とか入選とかいろんなことをされている、芸術家肌。
　そういったお２人から質問をいただきました、「渇水対策」。まさにタイムリーな質問をされたな。実は今日も第２回目の渇水対策委員会開催いたしました。私どもの大切な水をしっかりと、できるだけ断水などしないようにと願いを込めた対策委員会。皆様にもまだ是非ともあらゆる面でご協力いただきたい。お風呂は、皆さんもうシャワーだけですよ、しばらくは。我慢していただきたい。そんなことも一つ一つ、ひとつよろしくお願いをします。
　私からは２点目の「市民が協力することのできる渇水対策」に関しまして、お答えをさせていただきます。
　玉川ダム、市全体の約 40%の水を確保できる最も大きな水源です。上水道、工業用水、農業用水の確保と治水を目的として、本当に本当に大勢の、当時の今治市行政に参画していた皆さん、それからありがたいのはやっぱり当時の、今は合併しましたけれども玉川町の皆さんのご協力がなければできなかった、大変な大事業でありました。
　皆さんが今いただく水、そういった先人のご苦労があって、今いただけるんだ、ありがたさを享受できるんだと、そういう思いで、是非とも水を使うとき、改めてダムの大切さ、水のありがたさを噛み締めていただきたい。そして忘れてならないのは、先人への感謝の気持ちだと思います。
　現在、雨が少ない、少雨による影響と灌漑期の水需要が重なったために貯水率は減少を続けており、今ほどご質問の通りの状況で、８月３日午前０時現在は５５.数%といったふうに非常に厳しい状況になっております。このまま雨が少ない状況が続きますと、平成６年、皆さんはまだ生まれてなかったと思いますけれども、あのときも大変でした。また平成 12 年、このときも大渇水でありました。その状況を私ども、どうしても重なってきます。できるだけ、冒頭申しました断水などがないように、しっかりと対応してまいりたいと思っております。
　ご質問の「市民が協力できる渇水対策」として、「蛇口をこまめに閉める」、「食器はため洗い」、「歯磨きの時はコップを使う」、先ほど言いました、「風呂ではシャワーだけ。しばらく我慢しましょう」そして、どうしてもどうしても家はおじいちゃんがおって、風呂中に入らんと気がすまんのよという人がもしおったとしたら、その「残り湯を無駄にしない」。そういったこともお考え、洗濯などまた水やりにそのお風呂の水を使う。こういった節水方法をしっかりと取り組んでいただきたいと思います。
　本市の市民一人あたりの水使用量、１日約 300 リットルです。毎日バケツ１杯分、10 リットルの節水をしていただくと、一人一人では少量であっても、全市民約 16 万人が一丸と

なって取り組むことで大きな節水効果につながります。市といたしましても、市民の皆様に引き続き節水の呼びかけを行うとともに、今後とも安心・安全な水を安定して供給できるよう努めてまいります。

更に貯水率が低下した場合の対策につきましては、上下水道部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

○阿部正志上下水道部長

土岐亮大朗議員、戸村花菜議員ご質問の「渇水対策について」の１点目、「更に貯水率が低下した場合の対策」について、お答えをさせていただきます。

今治市では、蒼社川の水利について、かんがい用水、工業用水及び上水道用水の相互間の調整を行い、有効かつ合理的な運用を図り、共同の利益を増進するため、県及び農業者等、「蒼社川水系水利調整協議会」を組織しております。６月 22 日の協議会で、玉川ダムの貯水率が 65%以下になるとダムからの取水制限を行い、貯水率に応じて段階的に制限を強化していくように決定されております。

これを受けまして、今治市におきましては、７月 21 日から上水道は、20%の取水制限を行っておりますが、今のところは、市民生活に影響はございません。また、７月 25 日には渇水対策本部会議を開き、全庁を上げて、それぞれの部署で渇水への対応をしております。

先ず、第一段階としまして、公用車に「節水シート」、公共施設のトイレ等に「節水ステッカー」を貼ったり、広報車やＦＭラヂオバリバリを通じて市民に節水を呼びかけたり、また、新聞に節水チラシを入れて市民に協力をお願いしております。また、企業や病院といった大口の使用者にも節水を依頼しております。また、学校プール等につきましても使用の自粛を依頼しております。

なお、今後につきましては、市としましても、天候の推移、ダムの貯水率を見守りながら、出来るだけ市民生活に支障を来たさないように取り組んで参りますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

○廣瀬萌々香子ども議会議長

土岐亮大朗議員、戸村花菜議員。

○土岐亮大朗議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長

以上で、土岐亮大朗議員と、戸村花菜議員の一般質問を終わります。

次に、３番玉川中学校沖本成海議員、４番越智ひなの議員。

○沖本成海議員
　玉川中学校３年沖本成海です。

○越智ひなの議員
　越智ひなのです。

○沖本成海議員
　僕たちは、「玉川地区の洪水や土砂災害の予防対策について」の質問を行います。
　最近では、集中豪雨が多く、洪水や土砂崩れでの災害について、テレビや新聞でよく目にします。7 月にも九州での豪雨による災害について大きく報道されていました。また玉川地区でも１９７２年と１９７６年に、土砂災害で亡くなった方がおられたそうです。
　職員室の後ろに貼ってある『今治市洪水・土砂災害防災マップ』を見せていただくと、僕たちのすむ住む玉川地区にも赤線で囲まれた急傾斜地崩壊危険箇所やオレンジ線で囲まれた土石流危険渓流が数え切れないほどありました。

○越智ひなの議員
　そこで玉川地区の洪水・土砂災害の予防には、どのようなことが行われているのか、雨で災害が心配なときは、どのようなことを気をつければいいか、教えていただきたいと思います。以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　お答えします。沖本議員、越智議員、2 人とも生徒会で活躍もされておられますし、特に沖本議員には会長という大役、大変だったと思います。それに加えて、玉中といえば、ソフトテニスが昔から伝統的に非常に強いと聞いております。特に今年は女子が、今日は北郷中学も来てますが、非常に強い北郷中学に女子が勝ったというような話も聞いております。男

子のほう、しっかりと取り組んでいただいたのが沖本君。それから越智議員は卓球部のキャプテンですか。非常に運動神経抜群だと思います。

そうした、おそらく２人とも中学校生活、非常に充実しているんだな、これからの卒業までの期間をさらに素晴らしいものにしてほしいなと願いながら、両議員ご質問の「玉川地区の土砂災害予防対策について」に関しまして、私からお答えさせていただきます。

九州北部に甚大な被害をもたらせた梅雨前線は、午前中に島根県で大雨特別警報が発表され、その後南下して今治市を通過し、午後に先ほど申し上げた、福岡県朝倉市付近で停滞して豪雨となりました。この災害が、本市に起こっていても不思議ではない状況でもありました。

両議員も地元のことを良く調べられておりますが、防災は過去の災害から学び、その教訓を活かしていくことが大切であります。自分たちの住んでいる地域にどんな危険が潜んでいるかを知ること、すなわち「正しく恐れる」ことから防災は始まります。

私からは２点目の「雨で災害が心配なときに注意しておくこと」についてお答えします。

広報誌と共に各戸に配られています「今治市防災マップ」などに、大雨・洪水、土砂災害、地震等の災害時の注意点などについて、わかりやすく記載しています。しっかり目を通し、友達や家族とともに災害への備えについて話し合ってもらいたいと思います。特に、大雨、土砂災害については、注意深く気象情報や市が発表する避難情報を入手し、また土砂災害の前兆現象にも注意し、自らの判断で早めに避難することが大切です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っていて避難所への移動、水平避難が危険な場合は、近くの頑丈で高い建物や自宅内のより安全な場所である２階や崖から遠い部屋へ移動すること、これを垂直避難、を考えてほしいと思います。

今後も、市民の命をあらゆる災害から守りぬく体制づくりをしっかりと進めていきます。玉川地区の洪水・土砂災害の予防につきましては、都市建設部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○垣谷光慶都市建設部長

沖本成海議員、越智ひなの議員ご質問の「玉川地区の土砂災害予防対策について」のうち、１点目の「玉川地区の洪水・土砂災害の予防工事」についてお答えいたします。

洪水対策につきましては、玉川地区が関連するところでは、蒼社川において、山手橋から鴨部橋の間の堤防の補強工事を計画しており、愛媛県の事業として、平成 28 年度から用地買収を始め、今年度からは一部工事にも着手しております。

一方、土砂災害対策につきましては、同じく愛媛県の事業として、関連法令に基づき、土砂災害の恐れのある箇所の指定を行うとともに、住宅や公共施設等が多く立地する緊急性の高い所から、土石流や土砂崩壊などの土砂災害を防止する工事を行っております。平成 24 年度以降、砂防ダムの整備や堆積土砂の撤去など６件の実績があり、今後も、計画的に土砂災害対策を実施することとしております。

また、今治市の事業としましては、愛媛県事業として採択されない個別の家屋について、個人の申請により、一部負担金をいただきながら、がけ崩れ防止の対策工事を行っており、

最近では、平成 25 年度に與和木地区で１件、平成 27 年度に法界寺地区で１件の工事を行っております。以上でございます。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　沖本成海議員、越智ひなの議員。

○越智ひなの議員
　以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　以上で、沖本成海議員と、越智ひなの議員の一般質問を終わります。
　次に、25 番桜井中学校眞鍋光汰議員、26 番村上ゆい議員。

○眞鍋光汰議員
　桜井中学校３年眞鍋光汰です。

○村上ゆい議員
　３年村上ゆいです。

○眞鍋光汰議員
　僕たちは、「今治タオルについて」質問します。
　今治タオルといえば、今治を代表する特産品の一つとして全国的に知られています。それは、数々の厳しい試験に合格した品質の良さにあると思います。その試験項目に「吸水性」があり、「沈降法」という方法で試験を行っているそうなのですが、この方法が他の方法と比べてよいのは、どういった点でしょうか。また、合格基準を５秒以内と定めているのは何故なのか、お聞かせください。

○村上ゆい議員
　二つ目の質問です。今治タオルは、全国的にも人気のある有名ブランドとなっており、県

外や更には海外でも多く販売されていると聞きます。そんな今治タオルが、今治市だけの生産で十分に間に合っているとは考えにくいのですが、今治市以外にはどういった地域で生産されているのでしょうか。県外・海外それぞれ中心となる生産地についてお聞かせください。以上で私たちの質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　眞鍋、村上両議員、生徒会で副会長。非常に絶妙なコンビだと思います。しかも文武両道、眞鍋議員はソフトテニス、前衛ですか。そして村上ゆい議員は陸上競技の、これ 800 メートルとか 1500 メートル。特に去年、第 30 回になります今治シティマラソンで、なんと中学２年の部で優勝ですか、たいしたもんだと。第１位になっている。しかも文化面でも活躍、本当に先ほども申し上げましたけれども、素晴らしい中学校生活を送っているな、と強く感じています。
　お 2 人からは、質問が出てくれたらいいなと思っていた「今治タオルについて」ご質問をいただきました。私からお答えをさせていただきます。
　今治市は、120 年もの間、タオル産業がずっと受け継がれ、糸を撚る工場、糸を染める工場、タオルを織る工場など、200 近くもの工場が集まる日本一の産地です。しかしながら、長い年月の中では、好・不況があり、特に平成３年のバブル経済が崩壊後、国内需要はぐっと縮小され、安価な中国産を中心とした輸入品が急増し、今治タオル産地は本当に壊滅的な打撃を受けてしまいました。
　そのような中、平成 18 年から今治タオルプロジェクトがスタートし、これは国、県、それから今治市がしっかりと、そしてタオル工業組合の皆さんと連携をしながら、佐藤可士和さんという素晴らしいコーディネーターをお招きして、「奇跡の復活」と言われるほど、全国的にも脚光を浴びています。
　さて、１点目の「沈降法」についてですが、今治タオルは厳格な品質基準をクリアした製品にのみブランドマークをつけることが許されており、その中でも最大の特徴は「優れた吸水性」です。日本工業規格では、吸水性試験は、「沈降法は、主にタオル生地に適用する」とされていることから、今治タオル工業組合では、タオル生地の吸水性試験として沈降法を採用しております。
　この方法は、水を張ったコップに１ｃｍ角のタオル片を浮かべて何秒で沈むかの時間を計る方法で、今治タオル本店に併設されたタオルラボで体験していただくことが出来ます。そして、沈降スピードの合格基準については、日本タオル検査協会が定める一般的基準は、60 秒以内ですが、それをなんと５秒。５秒以内という高い水準に設定することで、今治タオルの最大の特徴である「優れた吸水性」を保証しています。
　続きまして、２点目の「今治タオルの生産地」についてですが、今治タオルとして認定されるには、今治タオル工業組合に加盟する企業が、今治産地、これは、今治市、松山市及び

西条市でございますが、そこでタオルを織り、染色加工をし、かつ日本国内において縫製・加工したタオル商品でなければなりません。その上で、同組合が定めた吸水性、柔軟性や安全性など独自の品質基準に合格することが必要です。

同組合に加盟するタオル会社は、108 社で、うち所在地別では今治市になんと 96 社、松山市が６社、西条市６社で、松山市と西条市でも生産されていますが、ほとんど、約９割は今治市内で生産されています。また、同組合に加盟するタオル会社が生産するタオルであっても、県外や海外で生産されるタオルは、今治タオルとして認定されません。世界では、中国、インド、パキスタン、国内では、大阪の泉州や三重県に産地がありますが、今治タオルは今治産地で作られるというブランドを厳しく守っています。

今治タオルに関心を持っていただいたことをきっかけとして、本日出席の議員の皆さんには、本市の経済を支えているタオルをはじめとする繊維産業、造船・海運などの海事産業、エネルギー産業や食品製造業のほか、多くの地場産業に興味を持っていただき、将来、一人でも多くの方がこうした産業を牽引するような人材となって活躍されることを大いに期待しております。以上です。

○廣瀬萌々香子ども議会議長

眞鍋光汰議員、村上ゆい議員。

○眞鍋光汰議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長

以上で、眞鍋光汰議員と、村上ゆい議員の一般質問を終わります。

次に、５番大西中学校髙橋温人議員、６番越智日満里議員。

○髙橋温人議員

大西中学校３年髙橋温人です。

○越智日満里議員
　３年越智日満里です。

○髙橋温人議員
　僕たちは、「地産地消の取組と農業との関係について」質問します。
　地産地消の取組と農業との関係について提案と質問があります。まず移動販売車の導入です。全国の成功例の１つとして北海道の企業が取り組む『軽トラマルシェ』があります。地域で取れたものを専用の軽トラックに積み、各地で販売します。この取組により市民が地産地消に興味をもち、生産者も消費者のニーズに応える生産ができるようになったそうです。
　今治でも移動販売車を使っているスーパーがありますが、今治市が積極的にこのような取組をバックアップしていけば、地域で取れた食材を紹介できる良い機会になるのではないかと思います。

○越智日満里議員
　２つ目は『農作業・農村生活体験ファームステイ』です。この取組は青森県で行われており、体験型教育旅行として県外からも生徒が集まりファームステイ先で野菜や果物の栽培・収穫の体験をしたり、パンやピザなどの手作り体験をしたりするというものです。年々参加する生徒が増え、今後は海外の生徒も受け入れる予定だそうです。
　今治市にも日本の食を支える農作物があります。この取組が今治市でもできたなら、今治の農業の知名度がさらに上がるのではないでしょうか。以上で私たちの質問を終わります。よろしくお願いします。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　お答えします。髙橋温人議員、名前は何度か聞いたことがあるな、と思いながら、この越智議員とも２人ともやっぱり生徒会で正副会長、頑張っているなということ。それからスポーツもサッカー部、ポイントゲッターだね、その身長だったらきっと。それから越智議員のほうがバレー部キャプテン。決して大きくはないけれども、その俊敏な動き、リーダーシップ、きっとそうなんだろうなと思います。
　この髙橋、越智両議員ご質問「地産地消の取組と農業との関係について」のうち、１点目の「移動車販売の導入」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。
　先ほど、両議員から『軽トラマルシェ』のご提案をいただきましたが、ご存じのとおり、皆さんが暮らす今治市は、平野部、中山間部、それから島嶼部といった様々な地形と温暖な気候に恵まれているため、海から山までの多種多様な食材が存在しています。市では、その強みを生かし、平成18年に制定された「今治市食と農のまちづくり条例」のもと、全国に先駆けて地産地消に取り組んでまいりました。その成果として、ＪＡおちいまばりの『さい

さいきて屋』を中心に、市内の各所で直売所や産直市が展開され、大型スーパーの一角にも産直コーナーが設けられるなど、市内のいたるところで今治産の農水産物を購入できるようになっています。

今、今治新都市にイオンが昨年４月、誕生しました。そのときに強く言われたのが、このイオンの広い店舗、あるけれども、是非とも、是非とも今治の農産物、そういったものを中心とした『さいさいきて屋』さんと提携したい。是非入ってもらいたい。イオンの中に入ってほしい。その斡旋をしてほしいと言われ、そしてＪＡさんもご快諾いただいて、今あのように頑張っております。やっぱり産直というのは非常に大事だなということを強く感じたんです。

また、移動販売におきましては、先ほどのＪＡおちいまばりの先ほど申しました、『さいさいきて屋』が、島嶼部を対象としたネットスーパーを平成 26 年から開始しており、専用のタブレット端末で注文すると、翌日には地元の農水産物などを自宅まで配達してくれます。

今後も、これまでの取組を生かしながら、魅力ある今治産食材を市内外の多くの人に知っていただけるよう情報発信に努め、地元農林水産業の更なる発展に繋げていきたいと考えております。

「農作業・農村生活体験ファームステイ」につきましては、農水港湾部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。ちなみに、農水港湾部長は確か、大西の出身です。以上です。

○新居田昌彦農水港湾部長

先ほど市長が申しましたように、私、大西中学校で３年間学びまして、部活は髙橋温人議員と同じサッカー部で３年間汗をかきました。よろしくお願いいたします。

それでは、髙橋温人議員、越智日満里議員ご質問の「農作業・農村生活体験ファームステイ」につきましてお答えをさせていただきます。

今治市では、平成 12 年に愛媛県や周辺自治体とともに『しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会』を設立し、大三島、伯方島、大島を中心に、しまなみ地域における自然、文化、人々と都市住民との交流を促進して地域の活性化を図るとともに、地元農林水産物の消費拡大を推進して地域産業の振興を図っています。そのメニューの１つとして、先ほどご提案をいただきましたファームステイの取組を行っています。

例えば、みかんやいちごの収穫体験、米作り体験、石窯ピザつくり体験、魚の料理体験など、来て、遊んで、地域の農林水産業を丸ごと体験できるものがたくさんあります。また、農林漁家民宿では、それらの体験をした旅行者が宿泊サービスを受けることができ、さらに、都市部や海外からの修学旅行生の受け入れも行っています。

実績といたしまして、平成 28 年度のメニュー体験者数合計は 72,309 名で、宿泊者数は 108 名となっています。その内、修学旅行生につきましては、国内では大阪府の中学・高校から６校 774 名、国外からは台湾とネパールの中学・高校から 72 名を受け入れており、毎年継続して来ていただいている学校もございます。また、両議員お住まいの陸地部でも、ブ

ドウ・ブルーベリーの収穫や森林浴など、しまなみ地域とはひと味違った素晴らしい体験ができる施設もございます。
　今後もこのような取組をさらに支援し、来ていただいたみなさんに「今治の農業・漁業は素晴らしい」と記憶に刻んでいただき、再び訪れたくなるような思い出づくりを提供していくことが大切だと考えております。
　どうぞ、中学生のみなさんも、友だちやご家族とご一緒にグリーン・ツーリズムを体験していただき、たくさんの人に、今治はいいところだよっていう情報発信をたくさんしていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　髙橋温人議員、越智日満里議員。

○髙橋温人議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　以上で、髙橋温人議員と、越智日満里議員の一般質問を終わります。
　次に、27 番南中学校西坂一吹議員、28 番菅百衣子議員。

○西坂一吹議員
　南中学校３年西坂一吹です。

○菅百衣子議員
　３年菅百衣子です。
　私たちは「愛媛国体のときのおもてなし」について質問します。
　いよいよ愛媛国体が開催されます。多くの選手や応援の方がこの今治を訪れます。来ていただいた選手や応援の方に心に残るいい大会だったと感じてもえらるような大会にしたいと思っています。
　愛媛国体に向けて今治市では、花いっぱいの花壇で全国から訪れた皆さんをおもてなしす

る「おもてなしの花」を募集していると聞きました。その他に、今治にしかできない、今治らしさあふれる心からのおもてなしをするために、どのようなことを考えられていますか。

○西坂一吹議員
　私たち中学生も、この地元、今治での国体を盛り上げるために何かお手伝いできることはありませんか。
　今治市民全員で、素晴らしい大会にしていきたいです。私たちも、少しでも役に立てたらと思っていますので、教えてください。以上で私たちの質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　お答えします。まず西坂議員は野球、キャプテンで１番バッター。まさにリードオフマン。チームをしっかり引っ張っていたんだな、ということ。実際見てないけれども、わかります。私も中学校のとき野球をやってました。でもあなたのような華々しい活躍はできなかったけれども、本当に頑張った。それとなんか文化で、文化面でも書道がすごいんですね。これには驚いています。クラスからも信頼されて学級委員長ですか。学級委員をしっかり務められる。また一方の菅百衣子さん。ここに上がるときにバレー部と思うような身長でありますけれども、あなた１日も休まず、そしてしっかりとレギュラーを支えながらピンチサーバーとして役割を果たして。これなかなかできないことです。よく頑張ってこられたな、ということを強く感じますし、生徒会活動でもまた 50 周年のときにも大活躍と。本当にずっと皆さん今まで聞いとって、実際の、各中学校の本当にリーダーだなということ、強く感じています。敬服します。
　ところで、西坂一吹議員、菅百衣子議員ご質問、これもタイムリーです。「えひめ国体のときのおもてなしについて」、私からお答えいたします。
　『えひめ国体』の開幕まで、残り 58 日、『えひめ大会』の開幕まで、残り 86 日とあいなりました。準備業務は最終段階を迎えております。64 年ぶりに愛媛県で開催される国体には、延べ約 70 万人の皆さんが愛媛県を訪れ、ここ今治市においても、延べ約６万８千人の来訪者が見込まれております。全国各地から集まる選手監督・役員など大会関係者や観客の皆様を、市民総参加のもと、笑顔で温かくお迎えし、来訪者の皆様にとりまして、今治市での滞在がいい思い出として残り、再び今治の地を訪れていただけるよう、精いっぱいのおもてなしに取り組みたいと考えております。
　それでは、１点目のご質問、「全国から訪れる皆様への今治らしさあふれる心からのおもてなしの取組みについて」お答えいたします。
　まずは、「ふるまい料理の提供」でございます。『愛媛国体』において、本市では、10 月１日（日）から９日（月）までの９日間に、正式競技６競技を８会場で開催いたしますが、全ての競技会場で、地元食材を使った料理を１日限定 300 食、無料でふるまうことにして

おり、今治の食文化についてもＰＲしていきたいと考えております。
　次に、「競技会場への売店設置」でございます。大会関係者や観客の皆様の便宜を図るとともに、タオル、柑橘、焼き豚玉子飯など、本市の魅力あふれる物産品を広く紹介するため、全ての競技会場に売店を設置いたします。その他、今治駅などに総合案内所を設け、来訪者に、競技会日程、バスの運行状況、観光・宿泊施設など各種の情報を提供してまいりたいと考えております。
　続いて、２点目の「中学生が、国体を盛り上げるためにできるお手伝いについて」お答えいたします。
　中学生の皆さんには、47 都道府県の選手を応援する手作りのぼり旗の作製や、競技会場に飾るプランターの花の育成栽培など、様々なご協力をいただいておりますことを、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。心のこもった手作りのぼり旗や花プランターは、選手監督の皆さんの目に触れるよう、すべての競技会場に設置させていただくことにしております。
　そして、国体期間中、中学生の皆さんには競技補助員として競技運営をお手伝いいただくとともに、学校単位での競技観戦も計画しております。南中の皆さんには、中央体育館でバスケットボール競技を観戦していただく予定ですが、競技を観戦する際には、愛媛県選手団はもちろん、競技に参加する選手全員に対し、大きな声援を送っていただきたいと思っております。また、皆さんのご家族やご親戚のほか、知り合いの方にも競技観戦に来ていただけるよう積極的な声かけをしていただき、すべての競技会場が大勢の応援する人であふれ、活気に満ちた盛大な大会になりますようご協力をお願いいたします。以上です。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　西坂一吹議員、菅百衣子議員。

○菅百衣子議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　以上で、西坂一吹議員と、菅百衣子議員の一般質問を終わります。
　次に、７番菊間中学校片山愛弓議員、８番花原達也議員。

○片山愛弓議員
　菊間中学校３年片山愛弓です。

○花原達也議員
　３年花原達也です。

○片山愛弓議員
　私たちは「スポーツを通した交流について」質問します。
　今年は 64 年ぶりに愛媛県で国体が開催されます。しかし、64 年前は、四国４県で共同開催しているので初の単独開催です。今治市では、10 競技が 12 施設で行われます。私たちが住んでいる菊間町でも成年女子バスケットボールが行われます。スポーツで人が集まることをうれしく思います。
　スポーツをすることは、良い点がたくさんあると思います。私は、中学校で３年間バレーボールをしてきました。バレーボールを通じて、人と交流し、感謝の気持ちを学んだりたくさんの応援から励ましをもらったりしました。

○花原達也議員
　スポーツは、プレイする側も観戦する側も楽しめると思います。また、生涯を通して健康を維持するためにスポーツは大切だと思います。
　そこで、愛媛国体をはじめとするスポーツ関係の行事で、市内の人を含めたくさんの人が行き交う都市にしていくためにどのような工夫をしているのですか。僕たちにもできることがあると思うので、ぜひ教えてください。これで僕たちの質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　お答えします。菊間中学片山議員、花原議員お 2 人とも、生徒会の正副会長として、そして菊間と言えば何と言っても我々は、菊間中学はバレーだなというのをずっと、私たちが中学のときから強かったな、という。そのバレーボールで 2 人ともキャプテン。男女ともにキャプテン。大変な活躍だったんだな。特に今ほど片山議員を見ながら、将来東京の知事でなくて願わくば今治の市長を目指して頑張ってくれたらいいな、とそんなことが私の脳裏によぎりました。
　これからしっかりと 2 人とも学問にも精励して、将来リーダーとして活躍してくれることを願いながら、片山、花原両議員ご質問の「スポーツを通した交流について」に関して、私からお答えさせていただきます。
　今治市は、昔からスポーツが大変活発な地域であります。把握しているだけでも、１年間で約 400 の大会等が開催され、７万５千人が参加しており、そのうち約４千人が県外から

の選手です。市においても「スリーデーマーチ」や「今治シティマラソン」など、スポーツに関連するイベントや大会を開催し、市外からも多くの方に参加していただいております。また、国内最大級の「国際サイクリング大会」をはじめとする、サイクリングに関する様々な大会やイベントの開催、そして観光宣伝により、瀬戸内しまなみ海道は「サイクリストの聖地」として世界中から注目され、海外からのサイクリストが行き交う姿も多く見られるようになりました。自転車を通じたまちづくり交流協定を締結した滋賀県の守山市や沖縄県名護市をはじめ、サイクリングをまちづくりに活かしている全国の自治体との交流も増えてくるものと期待をしているところであります。

そこで、皆さんにお願いがあるんです。まず「今治」を好きになってください。私の座右の銘でもありますけれども、「愛郷無限」。故郷を愛すること限り無し。「愛郷無限」という言葉があります。自分たちの故郷にどんな「いいもの」があるのか、どんな「いい場所」があるのか、市外の方にも誇りを持ってＰＲできる今治の魅力を知る、そんな郷土を愛する心をぜひ、皆さんにも感じていただきたいと思います。そして、皆さんが全国各地の大会に参加したり遠征したときには、「今治はこんなにいいところだよ」と今治をＰＲしてください。そして、今治に来られた方を「おもてなし」の心で温かくお迎えしてください。

両議員ご質問のとおり、愛媛国体は、今治をＰＲできる最大のチャンスであります。今治市民全員でお迎えすることが大切です。国体が終わりましても、チーム今治の一員だという気持ちで、スポーツで出会う仲間と交友を深めていただきたいと思います。

その他詳細につきましては、教育委員会事務局長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いします。

○林秀樹教育委員会事務局長

片山愛弓議員、花原達也議員ご質問の「スポーツを通した交流について」に関しまして、私からは「スポーツを通じてどのような工夫をしているか」についてお答えいたします。

本市は、「スポーツのまちづくり」を掲げております。総合型地域スポーツクラブなどの拠点づくり、観光分野と連携したスポーツツーリズムの推進、そして、全国的にも注目されております「ＦＣ今治」との連携によるまちづくりを進めております。

具体的に申しますと、１つ目は、「スポーツ施設の整備」でございます。愛媛国体では６つの正式競技そして４つのデモンストレーションスポーツが本市で行われます。そのため、国体に向けてスポーツ施設の整備を行ってまいりました。市営球場・中央体育館など老朽化していた施設は改修し、新都市にはあらたにテニスコートとサッカー場を、玉川ダム湖ボート場には艇庫をオープンいたしました。

２つ目に、それらのスポーツ施設を活用した「スポーツ大会や教室・合宿の誘致」でございます。愛媛国体に向けて整備した施設をはじめ、本市内には、他市に比べて数多くのスポーツ施設があります。各種団体と協力し、それらを最大限に活用したスポーツ大会や教室、合宿の誘致に取り組んでおります。日本トップレベルの技術を間近で体験できるバレーボールやバスケットボール、野球などプロの試合の開催や、市民レベルでも、しまなみ海道沿線を中心に、各競技大会が数多く行われています。また、姉妹都市である広島県尾道市や群馬

県太田市とも、毎年、小中学生のスポーツ交流大会を開催いたしております。
　今後も、スポーツに関連するイベントや大会をもっと増やして、スポーツによる交流人口の拡大を図りたいと考えております。以上です。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　片山愛弓議員、花原達也議員。

○片山愛弓議員
　ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　以上で、片山愛弓議員と、花原達也議員の一般質問を終わります。
　次に、15 番今治東中等教育学校山崎桜議員、16 番仙波力玖議員。

○山崎桜議員
　東中等教育学校３年山崎桜です。

○仙波力玖議員
　３年仙波力玖です。

○山崎桜議員
　私たちは平成 30 年４月完成予定の「新クリーンセンターについて」質問をさせていただきます。よろしくお願いします。
　まず、軟質プラスチックの回収が廃止されることについてですが、軟質プラスチックは、平成 30 年４月から、可燃ごみと不燃ごみにどのように分けられるようになるのですか。具体的に教えてください。それと、平成 30 年４月以降、これまで使っていた白色ゴミ袋は家庭で余ってしまったら、使い道はないのでしょうか。

○仙波力玖議員
　次に新クリーンセンターについて、環境に配慮している点があれば教えてください。また、ごみをクリーンセンターに持っていく際、悪臭が気になります。従業員の方にとっても同じだと思いますが、臭いや健康被害に配慮はなされるようになるのでしょうか。
　最後に旧クリーンセンターの跡地はどのようになるのでしょうか。以上で僕たちの質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　お答えします。山崎桜議員、文化面で活躍、茶道部の部長さん。それからなんか科学の甲子園、学校代表といったふうに非常に文化活動しっかり頑張ってくれているんだなと。それから仙波議員は東中と言えば、東高もそうですが、とってもサッカーが強いというのは私ども、新聞でも感じています。その副部長として頑張っている。応援のほうでもきっと大きな声が出るんだな、リーダーとして。そうしたお２人。しかも仙波君はなんか表現力が卓越しているのか、この英語のスピーチコンテストでも優勝しているとか。いろんな面でしっかりと２人とも中学校生活頑張っているな、ということを感じております。
　さて、この２人、山崎、仙波両議員、これもタイムリーなお話いただきました。「新クリーンセンターについて」。３点目の「環境に配慮している点」と５点目「旧クリーンセンターの跡地利用」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。
　新クリーンセンターは、地元地域の皆様の大変なご理解、ご協力をいただきまして、平成30 年、来年４月の稼働に向けて、現在、建設中です。今治・大島・伯方・大三島の既存４施設の集約統合を図る、最大の合併効果だと。合併してあれこれ議論があります。でもやっぱり合併して良かったね、と言われる。それはし尿処理を今衛生センターでやってますが、もっと大きなこのごみ処理センター。ごみの処理ができる。これはまさにごみの工場。立派な工場です。おそらく全国からご視察においでる方、多いことになると思います。合併を最大限に活かした、活用した施設整備になります。「安全・安心で、人と地域と世代をつなぐいまばりクリーンセンター」を基本コンセプトに、万全の環境保全対策と耐震性の向上が図られています。施設の愛称を募集し、皆さんも応募していただけたかと思いますが、多くの方からいただいております。近々発表いたします。
　まず、ご質問の３点目「環境に配慮している点」についてですが、最先端かつ最適な技術により、ごみの焼却時に発生する排ガスをクリーンな状態に処理するなど、国の基準よりも厳しい基準で廃棄物を安全かつ安定的に処理することで、環境負荷の低減を図っています。また、焼却時に発生する熱を利用して発電を行い、施設全体の消費電力を賄うなど、エネルギーの有効利用によって低炭素社会の実現にも寄与しています。さらには、避難所機能を備えた地域の防災拠点として地域を守るとともに、見学設備や展示を充実させ、環境啓発、体験型学習や情報発信ができる施設にもなっています。

本市の環境対策の拠点として、完成後は、全国から先ほど申し上げました、大勢の方々が見学に来ていただける施設になるものと考えております。皆さんも是非見学にお越しいただければと思っております。

次に５点目の「旧クリーンセンターの跡地活用」についてですが、新施設の稼働後、旧施設は速やかに解体することとしています。跡地については、地域の皆さんが避難できる防災広場などを視野に入れて、検討を進めてまいりたいと考えております。

その他のご質問につきましては、市民環境部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○白石卓夫市民環境部長

山崎桜議員、仙波力玖議員ご質問の「新クリーンセンターについて」のうち、残りの１点目、２点目、４点目にお答えします。

まず１点目の「軟質プラスチックの回収の廃止について」ですが、新クリーンセンターでは、資源化できないプラスチックごみは焼却し、発電によるエネルギー回収を行なうこととしており、平成 30 年２月から軟質プラスチックの分別を廃止し、燃やせるごみとして分別収集することとなります。その結果、一般ごみの分別は、燃やせるごみと燃やせないごみの２種類になります。一方、資源として利用することができるプラスチック製容器包装と白色トレイについては、資源ごみとして回収することといたしました。

「プラスチック製容器包装」とは、プラスチック製品のうち、外装や容器に「プラマーク」が表示されているものです。「プラマーク」があり、きれいなものは資源ごみに、それ以外のプラスチック製品は、燃やせるごみとなります。資源ごみは、無料で収集いたしますので、市民の皆さんの費用負担も軽減されるものと考えています。

次に２点目の「白色ごみ袋が余った場合」ですが、黄色の袋と同様に燃やせるごみの指定袋として使用していただけます。

続いて４点目の「新クリーンセンターでの臭いや健康被害への配慮について」ですが、臭気は、ごみ搬入車両の各出入口にエアカーテンを設置して外部に漏れ出すことを防ぐと共に、作業エリア以内の臭気は、脱臭装置等で取り除いた上で、きれいな空気にして排出することとしています。また、働く方の健康を守るため、作業環境保全マニュアルを作成し、厳しく設定した基準によるモニタリングで、作業環境の変化をより細やかに監視することとしており、良好な作業環境を維持してまいります。以上です。

○廣瀬萌々香子ども議会議長

山崎桜議員、仙波力玖議員。

○山崎桜議員

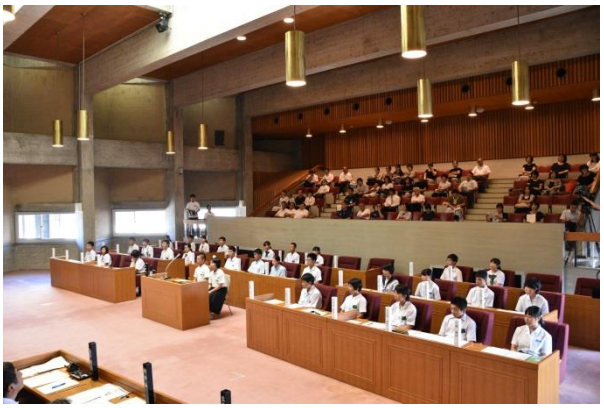
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○廣瀬萌々香子ども議会議長

以上で、山崎桜議員と、仙波力玖議員の一般質問を終わります。

ここで休憩を取りたいと思いますが、会議再開後の議長は、玉川中学校の沖本成海議員にお願いします。

では、休憩をします。会議の再開は、午後２時 50 分です。



○沖本成海子ども議会議長

それでは、会議を再開します。ここから議長をつとめます、玉川中学校の沖本成海です。よろしくお願いします。

一般質問を続けます。次に、29 番西中学校越智祐介議員、30 番和田陽香里議員。

○越智祐介議員

西中学校３年越智祐介です。

○和田陽香里議員

３年和田陽香里です。

○越智祐介議員
　私たちは、「学校生活」に関する質問をさせていただきます。
　西中学校は校舎が古く、水道関係に不具合が多くなっています。特にトイレの排水性の悪さが目立ちます。また、場所によってはトイレに窓がなく、トイレ環境に不便を感じます。学校は経済的に大規模な修理が難しく、どうすることもできていません。今治市として将来、施設の不便な点について改善計画はあるのでしょうか。また、現在生徒たちがより充実した学校生活を送れるようどのような工夫していただいているのでしょうか。

○和田陽香里議員
　もう１点お伺いいたします。私はバスケットボール部に所属していました。顧問の先生には平日の練習はもちろん、休日は練習試合や遠征に連れていっていただき、大変お世話になりました。私は先生のおかげで心身ともに大きく成長でき、とても感謝しています。
　最近、先生方の部活動での長時間労働が問題になっていると耳にしました。私たち生徒は今後も先生方に熱心なご指導をしていただきたいと考えていますが、先生方のご負担を考えると無理も言えないとも思っています。今治市としては中学校の部活動の見直しについてどのようにお考えでしょうか。以上で私たちの質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　お答えします。越智議員、和田議員ともに決して大柄でなくて、でも越智議員は野球部のセカンド。セカンドショートが大変忙しくて、忙しくて本当に機転が利かなくてはいけない。それはおそらく、和田議員も同じ、その体格でバスケットレギュラーっていうのは大変だったと思うけれども、運動量が大変多くて、そしてやっぱりスピード感のある動きがあったんだろうな、と。一回是非試合見たかったな、と。そんな気がしております。2 人とも生徒会でも随分活躍です。人気者のようですが、これからの学校生活をしっかりと取り組んでほしいと願ってます。
　さて、越智、和田両議員ご質問、「学校生活の充実について」に関しまして、私からお答えをさせていただきます。
　学校施設の改修については、これまで、児童・生徒の安全安心を最優先という観点から、地震対策に重点をおきました。校舎本体の耐震改修、しっかりと取り組んで、平成 28 年度までに全ての小学校中学校、工事を完了いたしました。引き続き、地震に備え体育館の吊り天井などを改修補強する工事を本年度から実施する計画にしております。また、これらの補強工事と並行して、老朽化した施設をより快適な施設に改善できるよう、緊急度の高い箇所から順次、計画的に改修を行っていきたいと考えております。
　次に、２点目の「部活動」についてですが、顧問の先生の温かいご指導の下、仲間とともに、部活動に熱心に取り組んできた両議員の熱い思い、また、顧問の先生に対する感謝と優

しい心遣いが伝わってきました。

私も、中学校の時、野球やってました。小学校の時はね、バスケットの、当時体育館がないからポートボールという、バスケットの代わりにこう、受ける人がいる。ですから、あなたたち2人ほどの俊敏さはなかったけれども、それでもボール、球を扱うということにはかなり自信を持って取り組むことができました。ただ、残念ながら高校時代、うっかりすごしてしまいました。その反省から、大学に行って空手をやりました。一生懸命やりました。ご覧のとおりの体格ですから、1メートル75から80は越える人と同じように戦わなくてはいけません。練習しかなかった。それはそれは彼らに負けたくないから、といったことで練習をしたことを思い起こしております。ですから、とりわけスポーツに対する思いというものは強いものがあります。皆さんもきっと、特に西中、厳しい練習でよく耐えてきたなと思います。心身鍛えられたと思います。これをこれからの学校生活、皆さん全てに通じることです。きっとこれから役に立ちます。このことを励みにして頑張ってほしいなと願っています。どうぞこの今まで体を心を様々鍛えた、同時に仲間が出来たはずです。それを大切にして、中学校生活みんなと取り組んでいってほしいなと願ってもおります。

2人とも、この生徒会でも活躍しております。部活動でも本当に先ほど申しました、大活躍です。しっかりと頑張ってもらいたい。そして今施設のことについてお話がいただきました。西中も確か、建物は随分と経ってきたんだなと。しかし中身が、先ほども南中が出ましたけれども、大規模校であった中で、切磋琢磨、お互いにしているなということを強く感じております。これからの後輩に、しっかりその皆さんの伝統といったものを繋いでほしいと願っております。

詳細については、施設その他詳細については、教育長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○八木良二教育長

越智祐介議員、和田陽香里議員ご質問の「学校生活の充実について」にお答えいたします。

1点目の施設改善についてですが、気持ちよくトイレが使えるかどうかは、私たちの快適な生活環境の中でとても大きなウェイトがあると思っています。また、学校は災害時の避難所としても使われますことから、西中学校のトイレ改修の必要性の高いことを充分理解いたします。議員ご指摘の排水の詰まりなど比較的軽微な修繕は、随時行うようにしておりますので、対応を図りたいと思います。トイレの窓につきましては、大きな改修となりますので、今後検討してまいります。

次に、部活動についてですが、昨年度の調査によりますと、今治市内の91.6%の中学生が学校の運動部や文化部に入部し、毎日の練習や活動に励んでいます。教育委員会では、部活動の有意義な点を十分理解し、推進に努めています。

議員ご指摘の今後の部活動の見直しについては、教育委員会として、今治市中学校体育連盟、小中学校長会と協力し、次のことを各校にお願いしています。それは、それぞれの中学校で決めている、部活動に関する約束事を全ての部がしっかり守るということです。具体的には、生徒のみなさんが勉強や運動、休養などのバランスをとれた生活を送れるよう、部活

動を休む日を１週間に１回以上取ること、決められた時間内で効果的な練習を行うことなどを指導しています。中学生の皆さんの心身の健康のためには休養が必要ですし、教職員も仕事と私生活の両立ができる環境が必要であると考えています。また、スポーツ庁が現在策定中の「部活動のガイドライン」の内容を受けて、今後さらに改善を検討する予定です。

部活動に励む生徒のみなさんの健全な成長を願っています。しっかりがんばってください。以上でございます。

○沖本成海子ども議会議長

越智祐介議員、和田陽香里議員。

○越智祐介議員

以上です。ありがとうございました。

○沖本成海子ども議会議長

以上で、越智祐介議員と、和田陽香里議員の一般質問を終わります。

次に、９番大島中学校関陽菜議員、10 番中村智沙議員。

○関陽菜議員

大島中学校３年関陽菜です。

○中村智沙議員

３年中村智沙です。

○関陽菜議員

私たちは「高齢者福祉施設の充実について」質問します。

今私たちが住んでいる大島には、人口の約 43.7%を占める 1500 人余りの 65 歳以上の高齢者の方が暮らしています。高齢者の内、介護を必要としているにもかかわらず、施設に入所できない人は 100 人近くいます。地域、近所のつながりの強い田舎であるためにお互い

に助け合うことができ、大きな問題は起きていないように見えますが、老々介護の状態であり、毎日の生活への不安は取り除くことはできません。限界はすでに来ています。

○中村智沙議員
　私の地域は、島であるために高齢者が健康を維持するために病院へ通おうにも、陸地より交通手段が乏しく、交通費も大幅に高くなります。時間も１日がかりになってしまいます。高齢者の方々が安心して、普通に暮らせる街は、子どもにも大人にも優しく、安心な街だと思います。今治市としての施設面や人員の増設・増員、今後の介護プラン等についてお聞かせください。

○沖本成海子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　大島中学校、統合しました。皆さん、吉海小、宮窪小から、もう３年間きたかな、という。仲良くやってますか。非常に２人とも元気のいい、素晴らしい声で、よく通る声です。特に関さんは、さすが空手だな、と。後輩頑張ってほしいなと思いますし、中村議員、卓球ですか。これも非常に反射神経大事です。しっかり頑張りましょう。文化面でもまた、クラスでも活躍と伺っております。これからの学校生活、中学校生活を大切にしてほしいと願いながら、このたび大島中学は女性優位か、女性２人が出てまいりました。敬意を表します。
　さて、関、中村両議員ご質問、高齢者福祉。その「高齢者福祉施設の充実について」のご質問、私からお答えをさせていただきます。
　２人の議員からは、大島の高齢化率など実情を聞かせてもらいました。本市全体の、本年４月１日現在の高齢化率は 33.6%、３人に１人が高齢者となっております。特に島嶼部、一番低い伯方地域でも 39.4%、島嶼部全体の高齢化率は 45%を超えています。
　どんなに元気な人でも、年齢を重ねることによりまして、どうしても医療や介護が必要になってきます。平成 26 年度版厚生労働白書掲載の、国全体の平均寿命は、男性が 79.55 歳、女性 86.30 歳で、健康寿命は男性 70.42 歳、女性が 73.62 歳となっており、平均寿命と健康寿命の差の約 10 年間は何らかの手助けが必要になります。今後、人口のボリュームが大きい、皆さん団塊の世代って聞いたことありますか。戦後、どっと、昭和 22 年 23 年と、ぐーっとこう大きく、出生しました。その団塊の世代がやがて、いやもうすぐ 75 歳となる平成 37 年、2025 年には、医療、介護の需要が今以上に増加しますが、若い世代の負担を考えると、全てを医療や介護に頼るのではなく、高齢者自身も要介護状態となることを予防するため、健康の保持増進に取り組んだり、要介護状態となってもリハビリなどを積極的に行い、身体能力の維持向上に努めなければなりません。何故なら、医療介護施設に頼っていたら、結局若い世代の皆さんの負担が大変大きくなるんです。ですからいわゆる、皆さんのおじいさんおばあさん世代、しっかり自らのことは自らがしっかり健康を保っていくんだという強い意志を持って毎日を過ごさなければいけないな。私自身もそういう、昭和 18 年生まれで

すから。もう決して若くない。若くないけれども、さすがに 20 代 30 代の市役所の職員には勝てませんけれども、それでも一生懸命、自転車一緒に漕いでいます。そうすることによって気持ちの中に、向上心というのが大事。ですからおじいさんおばあさん身近にいて、「よっこらしょ」なんて言っていたら、「おじいちゃん、元気出して『よしきた！』そんな声を出そうよ」と皆さんから激励してあげてほしいなと思います。話本題に戻ります。

こうした中で、本市の高齢者福祉政策の展望です。平成 26 年度に行った今後の暮らし方に関するアンケートで、介護認定を受けている高齢者の約 6 割が、できる限り現在の住まい、地域に住み続けたいと答えました。本年度、特別養護老人ホーム 2 施設 79 床、認知症高齢者グループホーム 3 事業所定員 54 名を開設したように、必要な施設整備はしっかりと行う必要がありますが、先ほど申しましたように、ただただ施設を増設して対応するのではなく、病院や施設に入所しなくても、地域で医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムと言われる仕組みの構築にも取り組んでいるところでもあります。このシステムを構築するには、介護保険制度などの「共助」、その他の公の負担である「公助」だけでなく、自ら介護予防に取り組み、健康寿命を伸ばすという「自助」に加え、ボランティアや住民組織によるお互いの「互助」など、多様な主体と市が協働しながら地域全体を支えあう様々な体制づくりが必要であると考えています。

両議員からも地域の皆さんが助け合っている様子をご紹介いただきましたが、大島以外の地域においても、地域の人たちと協力しながら、住み慣れた家で生活ができる地域を是非、作っていかなければならないと考えています。中学生の皆さんにも、柔軟な発想で、地域において自分達にできること、例えば、声をかけてあげてください。「おはようございます」と言ったら、おじいちゃん、くっと腰が伸びて「おはよう」と返ってくると思いますし、ちょっと手助けをしてあげる。そんなことがとっても高齢者にはぐっとくる。そして「よし、頑張るぞ」という思いをきっと持ってくれると思います。皆さんはその若さだけで、地域にそしてまわりに、元気を、活力を与えてくれるんです。そのことをどうぞしっかりと、しっかりとそれぞれ自覚をいただきながら、前を向いてそして地域の中で皆さんの存在感を高めていただければありがたいと思っております。

その他詳細につきましては、健康福祉部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

○村上伸幸健康福祉部長

関陽菜議員、中村智沙議員ご質問の「高齢者福祉施設の充実について」詳細をお答えいたします。

まず、お尋ねの施設面の増設についてお答えいたします。入所待機者とされている方の中には、既に他施設に入所されている方や、資格を喪失されている方もおりますので、現在その詳細を調査中であります。その結果を踏まえ、施設整備の要否、数量等を検討することとしております。

次に人員の増員についてです。介護人材の確保については、県において、介護分野への就職に関心がある方を対象に職場体験を実施し、就職を支援しています。また離職失業者を新

規に雇用し、介護施設で働いてもらいながら、介護職員初任者研修を終了してもらう介護雇用プログラムを実施する等、介護分野への参入促進を図っております。

最後に今後の介護プラン等についてです。市長答弁にもありましたが、年齢を重ねるにつれ、医療と介護が同時に必要になる方が増えて参ります。こうした人達が施設に頼らず、在宅で生活を続けていくには、医療と介護が連携を取り合いながら、それぞれのサービスを効果的に提供することが大切です。現在は医療・介護の多職種による研修を行い、顔の見える関係作りを進めております。また平成 27 年度より、医療機関、保健所など関係機関と連携をとりながら、在宅から入院、入院から在宅への疾患及び日常生活動作情報の共有化へのルール作りや、連携シートの作成作業をおこなったところです。今後は平成 30 年４月までに、在宅医療と介護の連携についての相談窓口を設置したいと考えております。以上です。

○沖本成海子ども議会議長

関陽菜議員、中村智沙議員。

○関陽菜議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長

以上で、関陽菜議員と、中村智沙議員の一般質問を終わります。

次に、31 番北郷中学校池田祐也議員、32 番眞鍋めのう議員。

○池田祐也議員

北郷中学校３年池田祐也です。

○眞鍋めのう議員

３年眞鍋めのうです。

○池田祐也議員

僕たちは「今治市の病児保育の施設について」質問があります。

小さい子どもをもっていて、働いている母親が、一番心配しているのは、いつ子どもが病気にかかって、仕事を休まなければならないかわからないということだと聞きました。病気の時ぐらいは、一緒にいてあげたいと思うそうですが、病気は突然なことが多く、どうしても仕事を休めない時があります。そんな時に、子どもを預けられる施設があると、大変助かると思います。

○眞鍋めのう議員

現在、今治市にはこのような施設が一軒あるのですが、自宅から距離が遠く、利用しづらい人もいると聞きました。子育てと仕事を両立しているお母さんたち、そして、何より、子どもたちのために、施設を増やす予定はあるのでしょうか。また、その場合、感染する病気や、症状の軽いの病気などがありますが、どのようにして分けるのでしょうか。以上で私たちの質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

お答えします。池田議員、眞鍋議員２人とも、中学校生活、全員がなくてはならない生徒会でのお世話をしながら卓球部で、また眞鍋議員は剣道部で活躍をされておられます。本当に皆さん頑張っているなということを強く感じております。そしてもうひとつ感じたのが、今のこの先の大島中学校は高齢者の問題を、そして北郷のお２人はヤングママ、ヤングパパの立場からのご質問をいただいているな。非常に幅広い、そういったことを感じています。

私からは「病児保育の施設について」に関しまして、お答えをさせていただきます。

去る６月 19 日、市役所の課長以上の管理職員全員が、「個人の希望どおりに働くことができる環境づくりを進める」ことなどを内容とする「今治市ひめボス宣言」を行いました。部下のワークライフバランス、仕事と生活の両立を考え、キャリアと人生を応援しながら組織の業績も結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことを「イクボス」、聞いたことがあると思います、「イクボス」と呼びますが、ひめボスとは、愛媛県版のイクボスのことです。県内でも、トップや管理職員が「ひめボス宣言」を行い、働きやすい職場環境づくりに取り組む企業が増えています。ご質問にありました「子どもが病気の時くらいは、一緒にいてあげたい気持ち」、そうした「個人の希望どおりに働き」、休みを取れる、子育てがしやすい環境づくりを、宣言にあるように全力で進めていかなければなりません。

しかし一方で、子どもが病気になっても、さまざまな事情で仕事を休めないという難しい現実があることも事実です。働く子育て世代にとって、病児保育施設は本当に必要な施設であると思います。

こうした中で、本市では本年４月に「キッズケア・青い鳥」という病児保育施設が開設されました。この施設は、「あおい小児科」に運営をしていただいておりますが、通常の診察に加え休日診療も行うなど多忙の中、子どもが病気の時の保護者の大変さを考え、少しでも

市の子育て事業に役立ちたいという熱い思いがあって実現できた事業であり、大変ありがたく感謝をしております。

ご質問の１点目「施設を増やしていく予定はあるか」についてですが、平成 27 年３月に策定した「今治市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、平成 31 年度までに合わせて４か所程度の施設整備を目指したいと考えております。ちょうど先月 24 日から、新たに病児保育を実施してもらえる病院や診療所の募集を開始したところなんです。

また、２点目の「感染する病気や症状による分け方」についてですが、増設は量的な拡大を目指すもので、病気の種類や程度により施設を分けるというものではありません。どの施設でも、病児保育を利用できるのは、当面症状の急変は認められないけれど、病気の回復までに至っていないため保育所の利用が困難であり、また、保護者の勤務等の都合で家庭で保育することができない方を対象としています。利用にあたっては、かかりつけ医の意見を書いた連絡表をもとに、施設の医師が利用の可否を決定し、病児の症状により、保育する部屋や内容を分けるなどの対応をとって、きめ細やかな病児保育サービスをしていただいております。

こうしたサービスの充実を図り、若い世代がこの今治で安心して子供を育て、働き、住み続けたいと感じることができる環境づくりに全力で取り組んでまいりたいと考えております。皆さんも是非家庭を持つならやっぱりやっぱり今治だね、と。そういう町を目指しています。どうぞこれからもよろしくお願いをいたします。以上です。

○沖本成海子ども議会議長

池田祐也議員、眞鍋めのう議員。

○池田祐也議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長

以上で、池田祐也議員と、眞鍋めのう議員の一般質問を終わります。

次に、11 番伯方中学校野間旺次朗議員、12 番阿部華議員。

○野間旺次朗議員
　伯方中学校３年野間旺次朗です。

○阿部華議員
　３年阿部華です。

○野間旺次朗議員
　僕たちは「しまなみ海道の通行料金について」質問をします。
　私たちが住んでいる伯方島は、海、山に囲まれていて自然豊かな島です。しかし、島内には大きなお店や娯楽施設はありません。大きな買い物や用事で今治市内に行くたびに、橋を渡らなければなりません。距離的には近い今治市ですが、私たち島民にとって通行料金はかなりの負担になっています。
　また、私たち学生にとっても進学先や就職先を考える際に、この通行料金は経済的な面で大きな壁となっています。

○阿部華議員
　また、現在、私たちの住むこの伯方島に限らず、島々の人口が大きく減少してきています。島は自然豊かで誰もが知り合いのように仲良く過ごせるところです。とても住みやすいところなので、島に移住を考えている人のためにも、通行料金について見直しをしていただきたいのです。そして島の人にとって「本当に近い今治市内」になればいいと考えています。
　このことは、伯方島に住んでいる私たちだけでなく、他の島に住んでいる人たちも同じ気持ちではないでしょうか。以上の事を踏まえ、しまなみ海道の通行料金の見直しについての検討を是非お願いいたします。以上で私たちの質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　お答えします。伯方中学校、元気な２人。野間議員、バスケットで、ちょうど今日はお昼のとき隣でした。活躍して、何故伯方がバスケット活躍できるんだろう。やっぱり小学校のときからご指導いただいた、その年月、年月というものが強くしてるのかなあと思っていますし、これからも後輩の指導をよろしくお願いしたらと思います。それから阿部議員はバレー部キャプテン。バレーというのは本当に勢いで得点を重ねる。一方で相手に得点が３点４点入るとずるずるずるっとそのままいってしまう。それをストップかけるんがキャプテン。非常に大きな役割だったと思います。頑張ってきたな、おそらく２人とも充実した部活ではなかったかな、そんな思いがしております。
　野間、阿部両議員ご質問、「しまなみ海道の通行料金について」について、お答えさせていただきます。

皆さんにとっては今あたり前に通っているしまなみ海道ですが、しまなみ海道が開通する前、島嶼部に暮らす住民は何をするにもフェリーまたは高速艇などの船が移動の手段であり、船の待ち時間、物資の運搬や救急医療など、さまざまな日常生活において、今と比べるとかなり、いや、ずいぶんと不便で不安を送っていたわけです。過去にも、悪天候によって、大変な犠牲が出る旅客船の沈没事故も相次ぎました。戦後悲しい事故がたくさんありました。これをきっかけとして本州と四国を結ぶ橋を建設してほしいという声が高まり、それが地域住民の悲願となりました。

長い間、島嶼部をはじめ越智・今治地域に暮らす皆さんが、いつかは「夢の懸け橋を」という熱い想いを持って橋の建設運動に力を注ぎ続けました。昭和 36 年、私は高校３年生でした。そのときに当時の建設大臣河野さんという、今日入閣した河野太郎さんのおじいちゃん、河野一郎建設大臣が、尾道から今治までの架橋、架橋地点になるであろうというところを視察に来てくれました。そしてその夜、この公会堂、まだ当時は新しくできたばかりでしたが、私はその大演説を聞きにいきました。熱く熱く心がときめいたことを今も覚えています。そしてそういった架橋、夢の懸け橋。その私たちの思いが実を結び、昭和 45 年、本州四国連絡橋公団が設立されました。そして昭和 50 年の大三島橋の着工、ところがオイルショック、事業が遅れました。完成は伯方と大三島が結ばれた大三島橋は昭和 54 年。私たちは本当に嬉しかった。当時の愛媛県の県会議員も全員がこの架橋、お祝いに来てくれたことを今も覚えています。経済情勢に左右されながらも、約 30 年、30 年という長い年月それから 7,500 億円もの莫大な費用をかけて、悲願であったしまなみ海道が完成したのです。

先人のたゆまぬ努力によってしまなみ海道が開通し、天候や時間に左右されずに、いつでも海を渡ることができるようになったこと、安全安心な生活を送ることができるようになったことに感謝する心を忘れてはならないと思っています。今日前半で水の問題がでました。玉川ダムの話をしました。あの当時の本当に先人の皆さんの大変な努力に感謝をしたわけですが、今も、このしまなみ海道についても是非ともその気持ちだけは皆さんも忘れないでほしいなと思っています。

さて、本題です。通行料金。全国的に同じような不平等感あるんです。無料のとこもあります。南予、だいぶ高速道路できつつあります。ほとんど松山から無料で行ける。そういうこともあります。不平等感はあるんです。ただ、国の主導において、しまなみ海道を含めた高速道路全般の通行料金制度の見直しが私ども本当に、国会議員、県会議員それから市会議員の皆さん、それともちろん私たち、市政担当しておるものあげて、この通行料金の見直しを国に対し、もちろん県に対し、国に対し、求めてきました。そういったことで随分とご理解もいただいたのも事実です。通行料金制度の見直しにあたっては全国の高速道路の借入金、借金しているんです。これをまとめて管理し、全国の高速道路の利用料金収入から返済していこう、みんなでその借入金は受けて、それから返していこうという、そういう制度になったことによって、しまなみ海道の建設費の償還、返すのも他の高速道路利用者に一部ご負担を背負っていただく。そういったかたちで平成 26 年４月１日からしまなみ海道の基本料金の減額が実現することになりました。

現在、伯方中学校の皆さんをはじめとする島嶼部の皆さん、また島への移住を考えている

方々にとりましても、しまなみ海道の通行料金がまだまだ経済的な負担となっていることは、十分認識しています。しかし、このように全国統一の料金体系により高速道路全体での返済計画が確立された現状では、しまなみ海道に限定して減額・割引することは非常に難しく、今後は広域的な視点で要望していく必要があると考えております。通行料金についても、以前のフェリー代金と比べるとかなり安く、改善されてきた経緯についても、どうそご理解をしていただけたらと思います。

今後とも、島嶼部の皆さんにとって「本当に近い今治市内」と感じられるよう、しまなみ海道が市民の生活道路として利用できる環境づくりに、より一層の努力をしていきたいと考えております。今後ともしっかり頑張ることをお誓い申し上げ、答弁とさしていただきます。以上です。

○沖本成海子ども議会議長

野間旺次朗議員、阿部華議員。

○野間旺次朗議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長

以上で、野間旺次朗議員と、阿部華議員の一般質問を終わります。

次に、19 番日吉中学校苅田諒央議員、20 番魚本祈子議員。

○苅田諒央議員

日吉中学校３年苅田諒央です。

○魚本祈子議員

３年魚本祈子です。

○苅田諒央議員

今治市は、サイクリングやサッカー、野球など様々なスポーツが盛んで、美しい瀬戸内海

や森林など観光地としても有名な豊かな町です。また、しまなみ海道は全世界の人にとって今治の魅力を感じてもらえる足掛かりとなっており、国内や海外からの観光客が増えてきています。特に、今年は愛媛国体が開催されることもあり、来県者が増え、道路や交通の整備がいっそう必要になるのではないかと思いました。

そこで、私たちは「愛媛国体を通して、一度ではなく二度三度訪れてもらえる街になってほしい」と考え、三つのことを質問します。

一つ目は、今治駅の駐輪場についてです。駐輪場の数が足りないためか、路上や店の前に自転車が置かれていて通行の邪魔になったり、景観を損ねたりしているのですが、駐輪場の現状と対策を教えていただきたいと思います。

○魚本祈子議員

二つ目は、レンタル自転車の整備です。たくさんの人が利用するレンタル自転車は本当に便利なものだと思います。でも、海の近くを通るため塩害は避けられません。しっかりと整備されているのか。また、レンタル自転車の数は足りているのか教えてください。

三つ目は、道路整備についてです。歩道が狭い所やでこぼこしている部分などがあり、危険だと感じる所が有ります。県外からもたくさんの人が訪れるなかで、道路整備はどのように行われる予定なのか教えて欲しいと思います。

以上の三つのことについて質問したいと思います。

○沖本成海子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

お答えします。苅田、いい名前、諒央。テニスをしながら、特色といったらこれ、読書家なんだね。これね、私は、皆さんも是非、読書。これはあの、ついテレビとかこんなのに行きがちだけれども、読書はとっても大事な、それは自分自身の反省から、是非とも小学校、私は卒業、小学校卒業式には卒業生にかならずそのことを言ってました。中学校になってからではなくて、中学校までの入学期間、２週間以上ありますね。その間に最低中学校までに３冊本を読んで、そして中学校に入学してください、という。そういう話をしたこと。毎年それは言っておりました。ところが諒央君は、毎日１冊ずつ読むということを目標にしっかり取り組んでいる。これはなかなかできないことです。で、願わくば、皆さん本を読んだあと、読書感想文、ポイントだけ書き残してほしいんです。そうすることによって後振り返って、それを自分の感想文見ただけで、その本、記憶がよみがえってきます。是非ともそういったことも通じて、この苅田議員の生き様というものを参考にしてくれればいいな、と今感じています。それから魚本議員はどこかで聞いた名前だぞ、と思ってました。そうだ、やっぱり水泳部だったな。今度また四国大会。四国大会ね、しっかりと頑張って。今治地域、水泳は他の地域に比べるとまだまだといったとこありますけれど、あなたが先陣を切って頑張っていただければありがたいと願っています。

ところで、苅田、魚本両議員「レンタル自転車」いわゆるサイクリストの聖地しまなみ、今治を頭に置いての「レンタル自転車の整備、また今治駅の駐輪場の増設、道路整備について」こういうご質問いただきました。私からお答えさせていただきます。

１点目の「今治駅の駐輪場の増設」についてお答えします。

今治駅の高架下には、約 380 台の有料駐輪場と、約 270 台の無料駐輪場があり、主に通学・通勤でＪＲを利用する方が利用しています。特に、無料駐輪場周辺におきましては、朝の通学・通勤時に今治駅周辺の通路や店舗の前など駐輪場以外の場所に自転車を放置している場合が見受けられ、これが通行の妨げになったり景観を損ねている原因になっています。対策といたしまして、直ちに駐輪場を増設することはできませんが、物理的に。毎日係員が、駐輪場以外の場所に駐輪している自転車を駐輪場に移動して整理を行うとともに、年に１回、放置自転車の整理・処分を行っております。今治駅は、本市の玄関口であり、本年は愛媛国体も開催されることから、市外・県外から多くの方が訪れます。中学生の皆さんも自転車のマナーをきちんと守り、今治市が日本一の自転車のまちとして誇れるように、ともに頑張りましょう。

次に、２点目の「レンタル自転車の整備」についてお答えします。

瀬戸内しまなみ海道は、国際サイクリング大会の開催やアメリカのＣＮＮテレビで、世界で最も素晴らしい自転車道の一つとして紹介されるなど、「サイクリストの聖地」として日本国内にとどまらず、世界的に知名度が上がっていることから、レンタサイクルを利用してしまなみ海道サイクリングを楽しむ方が増えています。間違いなく、年々増えています。

本市では、現在、約 800 台のレンタサイクルを保有しています。クロスバイクや子供用マウンテンバイク、電動アシスト自転車やタンデム自転車など、様々な種類の自転車を取り揃えています。ゴールデンウィークなど行楽シーズンの大型連休には、多くの観光客がサイクリングを楽しむためにサンライズ糸山を訪れますので、レンタサイクルが一時的に不足する場合もありますが、通常では十分な台数のレンタサイクルを確保しています。また、一番重要なことは、大人から子どもまで、安心・安全にサイクリングを楽しんでいただくことです。そのためにも、レンタサイクルを貸し出す前と貸し出した後には、担当職員がブレーキの効き具合やタイヤの状況を確認するなど、レンタサイクルの整備には細心の注意を払っています。

瀬戸内しまなみ海道は、本市が世界に誇れる素晴らしい観光資源です。皆さんも、是非、ご家族や友達と一緒に、しまなみ海道サイクリングを楽しんでください。

道路整備につきましては、都市建設部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いをします。以上です。

○垣谷光慶都市建設部長

苅田議員、日吉中学校テニス部前衛ということで、私も 45 年前はテニス、日吉中学校のテニス部で前衛をやってました。よくサッカーボールや野球ボールが飛び込んでくるテニスコートでよく練習をしていたことを覚えています。今の議長になられてます玉川中学校のテニス部とは地区大会でよく決勝で当たってましていつも負けてましたけど、それが今思いお

こされます。
　さて、後輩であります、苅田諒央、魚本祈子両議員ご質問のうち、３点目「道路整備について」にお答えいたします。
　一般的に、国道や県道、市道の幹線道路では、自動車の速度が速いため、安全確保のために、自動車と歩行者を分離するような整備がなされております。その他、市道には、自動車と歩行者等が共存して利用し、専ら生活のために活用されております生活道路があります。道路の整備形態は、時代によっても考え方が変化してきており、以前は、増加する自動車交通を中心として、自動車交通の妨げとなる歩行者や自転車は一段高く分離された歩道に誘導する整備が主流でありましたが、近年、自転車の増加、特にスポーツタイプの自転車の増加により、歩行者との接触事故が増えるなど、危険性が指摘されるようになりました。そのため、数年前から警察の指導により、歩道は歩行者に限定し、自転車は車道の左側を走行するような整備が進められるようになってきました。
　今治市では、しまなみ海道を中心に自転車推進を目指していることから、新しく整備する幹線道路では、車道の左側に歩道とは分離された自転車通行帯を確保する整備に取り組んでおります。
　また、歩道に関しましても、以前は一段高く整備し自動車との分離を図ってきましたが、議員ご指摘の通り、沿道乗り入れのための多くの切り下げがあることによって、進行方向に向かって波打った感じとなり、通行しにくいことから、今では車道と歩道の高さを同じにする整備に変わってきております。
　既に整備されている道路はかなりの長さがあり、すべてを早期に改良していくことは難しいですが、今ある施設を上手に利用しながら、更新の機会を捉えて計画的に整備していきたいと考えております。管理面におきましては、道路における事故をなくすことが最も重要でありますから、陥没等の危険なところにお気づきの際には、市へ連絡をお願いしたいと思います。
　道路をよりよく利用するためには、整備もさることながら、自動車、自転車、歩行者がお互いに思いやりを持って限られた道路空間を安全に利用していくことが大切です。中学生の皆さんにおかれましてもマナー向上にご理解、ご協力をお願いいたします。

○沖本成海子ども議会議長
　苅田諒央議員、魚本祈子議員。

○魚本祈子議員
　ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長
　以上で、苅田諒央議員と、魚本祈子議員の一般質問を終わります。
　次に、13 番大三島中学校山口千妃呂議員、14 番並川蓮議員。

○山口千妃呂議員
　大三島中学校３年山口千妃呂です。

○並川蓮議員
　３年並川蓮です。

○山口千妃呂議員
　私たちは、「快適な都市空間について」質問させていただきます。
　私たちは現在、大三島に住んでいます。近頃は、大山祇神社への観光客や、島へのサイクリングの方がとても増え、島全体が観光地として活気づいてきたと感じています。島に住む私もとてもうれしく思います。
　しかし、大三島は少子高齢化が進み、高齢者が人口の約半分を占めるようになっています。また、昔、賑わっていたと聞いている神社前の商店街は今ではほとんどが空き家となっており、当時の賑わいは全く感じられません。

○並川蓮議員
　すばらしい歴史や施設、美しい自然や農業を中心とした産業をたくさんの人に知ってもらうために、建築家の伊東豊雄さんを中心に空き家を再生してシェアハウスやシェアオフィスとして活用したり、都市と島をつなぐはたらきかけをしたりしています。
　そこで、今治市としてこのような活動の支援や、市が中心となって空き家や空き地の再生利用、また大三島だけでなく他の島の少子高齢化対策を行っていただくことは可能でしょうか。島を見捨ててほしくない、今治の島をもっとたくさんの人に知っていただきたいという願いをもっています。よろしくお願いします。以上で私たちの質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長

お答えします。大三島中、山口議員、並川議員。中学生活今、大三島中も先ほどの大島中と同じように統合しました。保護者の皆さん、また地域の皆さんも大丈夫かな、という。でも私はあの三村峠はずっと低くなるぞと。若者はこういったこと、すぐ柔軟に対応できる能力があると常々思っていました。いかがでしょうか。もうきっと、やっぱりあの中学校となると、ある程度のボリューム、部活にしても運動会にしても、やっぱり生徒数が多い方がいいな、という思いは持っていると思います。そういった中で、お2人とも生徒会活動。山口さん、会長さん。非常に頑張ってくれている。そして部活のほうもやっぱりバレー部であり、そして並川議員は剣道部といったことで頑張ってくれていることを頼もしく思っています。これからもしっかりと頑張ってほしいなと願ってます。

ところで山口、並川両議員ご質問、「快適な都市空間の整備について」。レベルの高いお話、課題をいただきました。伊東豊雄先生の活動に対する支援、それから島嶼部の少子高齢化対策について、お答えをさせていただきます。

まず、伊東豊雄先生、この活動についてですが、伊東先生は、皆さんご承知、建築界のノーベル賞、プリツカー賞。これはもう大変なことです。つい昨日今日の新聞にも日本人として3人目の賞をいただいたという記事が出ております。まさに世界的な建築家です。主な業績、実は日本ではまだ十分に、例えば今回のオリンピックの大変な競技場の最後の２つの中の１つが伊東先生でした。もう１つが隈研吾さん。吉海の亀老山のあの展望台、設計された隈さん。お２人の作品が残ったんです。最終的に隈さんになりましたけれども、まさに日本を代表するこの伊東豊雄先生であることは皆さんよくご承知、いや、案外地域の人がわからないかもしれませんが、つい先般、日台観光サミット、台湾と日本との観光で結びつきをさらに深めよう。10 回目となって今年は四国にまわってきました。そして香川と愛媛両県がそれを受け入れようと。その中で、我が今治市も１日時間をいただきました。そしてその時にですね、夜の会に伊東先生が来てくれたら、台湾からの皆さんがワーッと伊東先生に寄っていきました。それは台湾で高雄にスタジアムを立派なもの建てた。台中ではオペラハウス、ちょっとオペラハウスの概念を、皆さんオーストラリアのシドニーのオペラハウスはよく聞いてる。あれをさらに上回るようなすごいものが台中市にあります。台北のほうでは台北大学の立派な学び舎がこの伊東先生といったことで、私たちもっともっと勉強しなければならないな。そういった中で、規模がとっても小さいけれども、このあなたたちの住んでいる大三島に伊東先生がお住まいだった「シルバーハット」、それから「スティールハット」、これは後から作った。最初のシルバーのは持ってきた、というそういったものがあるわけです。景色のいいところです。是非皆さんも一度出来ればサイクリングで来たら、とても景色がいいし見ごたえがあります。そして伊東先生が、「大三島を日本でいちばん住みたい島にするプロジェクト」、こういったものを立ち上げて、島全体を元気にすることによって、島に暮らす人々が未来に希望をもって暮らし、I ターン、U ターン、J ターンで移住してくる人にも魅力ある島づくり、地域づくりを目指し、様々な活動を伊東塾として執り行っております。

また、本年度、「大三島ふるさと憩いの家」をリニューアルし、近年増加している外国人サイクリストを含む観光客の「島嶼部における滞在・周遊拠点」づくり、地域住民等との「交

流拠点」づくりにも取り組むことになっています。
　このほか、宮窪地域に開店した石カフェ、「石のカフェ」の設計を監修するなど、大三島のみならず、しまなみ地域全域で地域づくりに関わっていただいております。
　次に、島嶼部の少子高齢化対策についてです。本市では、平成24年度から都会から意欲ある若者を地域おこし協力隊として受け入れています。本年度は、島嶼部で13名が活動しています。これまで退任された18名のうちなんと15名が定住、地域の一員として活躍しており、ＳＮＳ等を通して島の魅力を全国に発信いただいております。
　また、「若者人材定着の促進策」として、「今治に住み続ける人を増やす」、また「今治で働く人を増やす」ため、市外から今治への人の流れをつくることを目的に、平成28年度から、移住して来られる方に対する住宅等への支援制度を創設したところです。既に希望者が来て、もう実現の方向に進んでおります。大三島中学校の皆さんが「島を見捨ててほしくない、今治の島をもっとみなさんに知っていただきたい」と考えていることを聞き、とても嬉しく思いました。今後、皆さんは進学などで大三島を離れることがあるかもしれませんが、将来、やっぱりやっぱり、地元に帰って、地域の活性化に自ら関わってもらいたいと願っています。今日皆さんビデオ見てもらって、私がちょっと立ち上がって、農業、花沢さん、あの方家族でそしてＰＴＡのカレンダーの表紙に出てるよっていう話をしました。あのひまわり、そして家族がみんな笑顔です。本当に素晴らしい笑顔で、あのカレンダー是非皆さん、見てください。やっぱり今求められているものは何なのかな、幸せとは何なのかな。そんなことを改めて、考えることができると思います。
　空き家や空き地の再生利用につきましては、企画財政部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いします。以上です。

○片山司企画財政部長
　山口千妃呂議員、並川蓮議員ご質問の「快適な都市空間の整備について」のうち、空き家や空き地の再生利用について、私からお答えをさせいていただきます。
　空き家や空き地の再生利用については、島嶼部ではＮＰＯ法人しまなみアイランド・スピリットや住民の有志の方が、移住を希望される方に対して空き家の情報を紹介する事業を行っていただいております。
　また、先に市長よりご説明したとおり、本市では移住してこられる方に対する支援制度を実施しております。50歳未満の働き手世帯や子育て世帯にたいして、住宅の新築や中古住宅の購入に対する補助制度や、空き家の改修経費に対する補助制度を実施しております。これらの事業につきましては、都市部で開催される移住フェア等、豊かな自然や伝統文化といった大三島を初めとする島の魅力をＰＲするとともに、こうした制度を広く皆さんにお知らせし、その活用を図ることで、空き家等の再生利用に繋げていけたらというふうに考えております。以上でございます。

○沖本成海子ども議会議長
　山口千妃呂議員、並川蓮議員。

○山口千妃呂議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長
　以上で、山口千妃呂議員と、並川蓮議員の一般質問を終わります。
　次に、21 番近見中学校藤井隼人議員 22 番廣瀬萌々香議員。

○藤井隼人議員
　近見中学校３年藤井隼人です。

○廣瀬萌々香議員
　３年廣瀬萌々香です。

○藤井隼人議員
　僕たちは「しまなみ海道から考える今治市内の環境整備について」質問します。
　近見中学校はしまなみ海道が臨める場所にあります。最近、校区でも自転車に乗った方をよく見かけるようになりました。海外の方に道を聞かれることもあり、そのたびに僕は今治のよさが広まっているのを感じて嬉しくなります。また、訪れた方が今治を満喫しリピーターになってくれればいいなと思います。だから、現在今治市が計画しているサイクリングコースの開発や道路整備について興味があります。サイクリングトレインやトラックでの自転車運送などの輸送システムの計画と併せて教えてください。

○廣瀬萌々香議員
　私たちは、「地域から愛される近見中学校をつくろう」という生徒会目標を掲げて３年目になります。えひめ国体も開かれる今年、今治地域のために私たち中学生にも何か役に立てることはないかと探してきました。今は、「県外や海外の方にも一目で分かるサイクリング標識づくり」を考えています。実現可能かどうかも教えてください。以上で私たちの質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　近見中のお２人にお答えをいたします。藤井議員、野球部。キャプテンでピッチャーという、まさに大黒柱。よく頑張ってきたんだなと思います。まとめるの、大変よね。よく頑張ったなと思います。これからもそれ、活きると思います。苦労は必ず実を結びます。これからの君の生き方、期待してます。それから廣瀬議員は生徒会長で先ほどの議長ぶりを見てもわかるように、非常にしっかりしている。しかもバスケットもやっておられる。こういった本当に文武両道、皆さん本当にすごいな、と思ってます。先ほど、藤井議員のほうから海外からのサイクリスト、これに話しかけられることがある、といったことがありました。どうか皆さん、これは私の反省。やっぱり英会話。これはやっぱり必須だな、と思います。これから皆さんの柔軟な発想でこれを習得して、やっぱり勇気を持って話しかける。そしてまず手と足で、手と口で、十分にそういったことを繋ぐことが、ＥＳＳ、あそこにおりますけれども、そういったことも大事だな、ということを強く今感じています。若い皆さん方に期待をいたします。
　ところで、藤井、廣瀬両議員ご質問、「しまなみ海道から考える今治市内の環境整備について」に関しまして、お答えをさせていただきます。
　「今治市を訪れる方々に、今治を満喫してもらい、リピーターになってほしい」という、ふるさと今治を愛する想い、とても嬉しく思います。今、しまなみ海道は、楽天トラベルの「サイクリストに人気の旅行先ランキング」において２年連続で１位。海外でもたくさん紹介されるなど、「サイクリストの聖地」として、国内だけでなく海外にも知っていただける人気のサイクリングコースとなっています。海外からも多くの先ほどお話のとおり、サイクリストが訪れていますが、しまなみ海道や瀬戸内海の景色に感動し、素晴らしいと喜んでいただいており、私たちも大変うれしく思っております。
　これからも、しまなみ海道や今治に来ていただく方々に安心してサイクリングを楽しんでいただけるよう、サイクリング環境の整備や、おもてなしの受入体制づくりに努めてまいりたいと考えております。本市を訪れるサイクリストのために標識を作りたいという提案は、昨年度の先輩から引き継いだ取組かと思いますが、中学生ならではのアイデアで、世界中からのサイクリストをおもてなしする標識ができることを期待しています。
　「地域に愛される近見中学校を作ろう」という目標のもと、今年も地域のために何かしたいという近見中学校のみなさんの伝統の想いが伝わってきました。これからもその想いを大切に受け継いで頑張ってほしいと思います。
　その他詳細につきましては、産業部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いします。以上です。

○安井孝産業部長

藤井隼人議員、廣瀬萌々香議員ご質問の「しまなみ海道から考える今治市内の環境整備について」お答えいたします。

愛媛県では、しまなみ海道を中心に、県下全域で誰もが自転車を楽しめる「愛媛マルゴト自転車道」により、愛媛県がサイクリングパラダイスとなることや、四国がサイクリングアイランドになることを目指しています。県内の魅力ある道路に、26 のサイクリングコースを設定しており、そのうち今治市を通るコースは、しまなみ海道サイクリングロード以外にも、「今治・道後はまかぜ海道」や「今治・西条ゆうゆう輪道」のコースがあります。これらのコースには、ブルーラインが引かれており、サイクリストが道に迷わず目的地まで行くことができます。

次に、輸送システムについてですが、サイクリングで今治市を訪れる方々は、自分の自転車を車で運んで来たり、ＪＲなどの公共交通機関を利用して訪れ、駅や港からレンタサイクルを利用したりしています。ご質問の、トラックでの自転車輸送の計画はございませんが、サイクリストの手荷物をその日のうちに行き先まで届ける手ぶらサイクリングのサービスを民間事業者が行っております。

また、愛媛県、松山市と共同で、春や秋の行楽シーズンの週末には、松山又は西条から今治まで、自転車をそのまま乗せられるサイクルトレインを走らせています。平成 29 年度は、43 回運行する予定となっており、松山方面や、大阪からのフェリーが到着する東予港からサイクリストを誘客したいと考えております。

県外や海外の方にも一目で分かるサイクリング標識づくりは、非常にありがたいと思います。どのような内容のものを作成するのか、どこに設置したいのか、設置を希望する場所の所有者や管理者等関係機関との協議が必要になると思われますので、学校の皆さんでよく検討されて、市の観光課に相談していただきたいと思います。

近見中学校の皆さんの熱いおもてなしの心が、世界中から訪れる方々に伝わって、今治の良さがさらに広まることを期待しています。以上でございます。

○沖本成海子ども議会議長

藤井隼人議員、廣瀬萌々香議員。

○藤井隼人議員

ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長

以上で、藤井隼人議員と廣瀬萌々香議員の一般質問を終わります。

次に、17 番今治明徳中学校安永大志議員、18 番近藤愛菜議員。

○安永大志議員
　今治明徳中学校３年安永大志です。

○近藤愛菜議員
　３年近藤愛菜です。
　私たちは「今治新都市について」質問します。
　今治新都市は中心市街地の機能を補完する副次核として人と物の交流する賑わいの街づくりなどの４つの機能を備えた街づくりをしているとありますが、具体的にどのようなことを行っているのでしょうか。

○安永大志議員
　今治市中心市街地の機能を補完する副次核とありましたが、実際、市街地と新都市は離れており、経済的効果を生むのが難しいと思うのですが、今治新都市による今治市全体の経済的効果はあるのでしょうか。また、効果を生むために行っていることを教えて下さい。今治新都市と市街地の両方が発展し、今治の町全体がいきいきとするよう、よろしくお願いします。以上で僕たちの質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　16 番目、大トリ、今治明徳中学のお２人。そしてお２人とももちろん生徒会の正副会長といったこと。安永議員はその身長を生かしてサッカー部で随分活躍しているんだと。キャプテンもされておる。そして先ほど１回は大切さ話しましたけれども、近藤議員、ＥＳＳで、実践的な英会話ができておるといったこと。皆さんひとつ参考にしながら、またそれぞれの学校にそういった方向を見出してくれたらとても国際的な街になるんじゃないか。海外交流協会っていうのも今治にはあります。そういったことも視野において、今後の方向性に一筋

の明かりを見出してほしいな、と願っております。

元気なお２人、安永、近藤両議員ご質問の今治新都市。今治の大きな課題であります。そういった課題でありました、そして今大きく一歩踏み出しております今治新都市に関しまして、お答えさせていただきます。

ご質問の１点目「今治新都市の４つの機能を備えたまちづくり」についてお答えをいたします。

今治新都市は、産業、商業・流通業務、地域連携・広域交流機能を担う「第１地区」と住宅、教育、体験学習の機能を有する「第２地区」により形成され、「住む」、「働く」、「学ぶ」、「賑わい」の４つの機能を備えた複合型の街でございます。この新都市の整備コンセプトは、「中心市街地の機能を補完するとともに、既成市街地が持っている本来の機能と一体となって、今治地域の広域交流、地域連携の拠点づくりを行う」というものであります。

まず、１つ目の「住む」という機能です。美しい街並みと暮らしやすい住環境を実現するために、第２地区へ 260 区画のニュータウン、「しまなみヒルズ」を整備し、現在約９割の分譲が完了しております。

次に２つ目の「働く」という機能です。地域産業の活性化と雇用の創出を図るため、第１地区の産業用地「クリエイティブヒルズ」では、平成 18 年９月から順次企業分譲を開始し、現在 18 区画が全て完売、うち 15 の企業が営業・操業を行っています。

次に３つ目の人と物の活発な交流を目指す「賑わい」機能です。「にぎわい広場」には、昨年４月、待望のイオンモール今治新都市、グランドオープンいたしました。約 120 の専門店と約 1,200 名の新規従業員の雇用が生まれ、新たな交流拠点となっています。この雇用が生まれたことによりまして、様々な効果がいっぱい出てきております。市民税もおかげさまで今年はちょっと増えそうです。

また、商業施設に近接して、愛媛国体のソフトテニスの競技会場としてテニスコートを整備したほか、皆さんご承知の屋根付きの、４面はいたしました。大変好評です。隣接する人工芝のサッカーグランドは、「JFA サッカーアカデミー今治」の練習場や市民利用のサッカー場として、本年４月に供用を開始したところです。そして何より、来る９月、FC 今治の 5,000 人収容の専用スタジアム「ありがとうサービス・夢スタジアム」が完成いたします。そうしますと、９月 10 日にこのサッカーが行われます。ＦＣ今治開幕地元で、是非とも皆さんも注目して、願わくば応援に駆けつけていただければありがたいと思っております。

これらのスポーツ施設を活用して、サッカー・テニス・フットサル・サイクリング等の利用者の増加を図るとともに、商業施設との相乗効果でさらに人を呼び込み、賑わい交流の拠点づくりを進めていきます。

次に４つ目の「学ぶ」という機能でございます。未来に向けて人と自然が共生しながら学ぶ街づくりの実現のため、第２地区の「しまなみの杜」には、自然環境を教育に活かした認定こども園、既に開園しております。隣接の「しまなみアースランド」では、環境教育プログラムを取り入れた「今治自然塾」を開塾しています。

また「いこいの丘」には、40 年来の悲願である、今テレビでも皆さんも新聞でもよくご承知、毎日のように出ておりました。学園都市構想の実現に向け、四国では初、国内では実

に実に52年ぶりとなる獣医学部が、来年４月には開学できるよう、全市一丸となって取り組みを進めているところでございます。

次に２点目の「新都市による本市全体への経済効果について」でございますが、例えば、第１地区のクリエイティブヒルズには、地場産業の支援機能として愛媛県の繊維産業技術センターが立地しており、今治市の基幹産業であるタオル産業との技術開発等、相乗効果が十分に期待できるものと考えております。

また、イオンモール今治新都市を中心とした商業施設や、今後クリエイティブヒルズに整備される日本食研の新工場が生み出す新規雇用も、地域経済の活性化につながるものと大いに期待をしているところでございます。

一方で中心市街地には、昨年、みなと交流センター「はーばりー」をオープンし、現在、海のコンコースなどの周辺整備を行っています。新都市を訪れたお客様を中心市街地に誘導するような施策の充実を図り、中心市街地と今治新都市がそれぞれの魅力を発信することで、更なる交流と賑わいが生まれるよう取り組んでまいります。最後に大きな大きな課題の質問をいただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

○沖本成海子ども議会議長

安永大志議員、近藤愛菜議員。

○安永大志議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○沖本成海子ども議会議長

以上で、安永大志議員と、近藤愛菜議員の一般質問を終わります。

これで、すべての一般質問が終了しました。

○沖本成海子ども議会議長

ここで、菅市長さんから、今日の今治市子ども議会の講評をいただきたいと思います。菅市長さんよろしくお願いします。

○菅良二市長

皆さん、中学３年生、議会臨んでいただきまして、最後に一言、ご挨拶申し上げます。大変長時間になりました。16組といったこともありまして、32人の議員みんな発言をいただきました。

しかしまあ、おそらく皆さん、もう少し時間がほしかったなあ、再質問もちょっとしたかった。そんな思いもあるだろうと思います。ただ、16 校の中学校万遍に、平等にといったことでこういうスタイルになりました。今後の課題として、どういうふうにしたらいいか、

また考えてまいりたいと思います。本当に最後まで皆さん、それぞれ、私菊間中の片山議員に申しましたけれども、１人１人の議員、本当に将来、今日も実は傍聴席に、現在の市会議員の皆さん、熱心に来てくれているんです。皆さん、きっと後継者できたぞ、と心の中で思っているかもしれません。そして皆さんの中からそういった政治に強い関心をもって取り組んでいってくれたら、もっともっと、今治よくなる。そんな手ごたえも強く感じました。素晴らしい質問。それから幅広い、我々が当面する課題、これから向かっていかなければいけない課題。そういうことについても堂々と皆さんから質問いただきました。感謝しております。

大事なのは市民が安心して暮らせるまちづくり。そしてあってはならない災害があったときにきちんと対応できる。そういう方向性をしっかりしていかなければならない。皆さんのご質問の中にも災害時のこと等々も出ました。お互いに日常の訓練、自助、共助、公助。こういったことも積み重ねながら、災害対策、また安全なまちづくり。そういったことにも全力で進めてまいりたい。要は快適な住環境を整えていくということではないかと思います。

ところで皆さん、今選挙制度変わりました。皆さんがおそらく高校３年生になったときに、２月の初めまでの誕生日の人、今治の市長選挙、市会議員選挙の選挙権ができると思います。そういった意味においても今日の、身近に議会を感じてもらうことができたといったことは非常に意味があると思います。帰ったら同級生によくお話を繋いでいただきながら、今治市政に大いなる関心をもって、そしてもう目の前です。高校３年生は。その時には立派に自らの大切な一票を行使してほしい。そんな思いがしております。

いろいろなことをお話、途中で答弁の中に入れさしていただきました。皆さんが中学校生活、特にそれぞれの学校から選ばれた人たちなのかな。そういう思いはいたしました。しかしまだまだ皆さんこれからです。これからの中学校の最後の締めくくり、高校へのステップ。しっかりと充実したものにしてほしいし、そして高校生活というのはこれまた非常に重要です。ここで学ぶこと、また、いろんな経験、体験を積むこと。このことによってさらにさらに、大きく飛躍する。そのことを私は、皆さんならできると確信をしております。しっかりと取り組んでほしい。そして願わくば、将来、どの地にいても、今治のことを思い、愛媛のことを思い、そして私が一番の願いは、冒頭申しました、故郷今治ほっとけないぞ、私が帰って何とかするぞ、という思いになってくれれば、大変嬉しい。今日の意義はさらに大きくなると思っています。

今日はたくさんの皆さん、傍聴に来ていただきました。先ほどの現役の市会議員だけじゃなくて、おそらく皆さんのお父さんお母さん、お母さん方が多いのかな。ひょっとしたらおじいさんもおばあさんも来てくれているのかもしれません。世代は繋がっています。私、あのリオオリンピックでいつもあれを見て感動したのは、400 メートルリレー。100 メートルの力だったら、アメリカやジャマイカには勝てない。その彼らが何故あのようなメダルが取れたのか。それはバトンが上手くいったからです。皆さんのおじいさんやそれからお父さん。それからあなたたちが引き継いで、立派にそれぞれの家庭、それから地域、願わくば今治市に大いなる関心をもって、これから本当に向上心を持って、将来、今治市のためになるぞという役割を果たしてくれたならば、こんなにありがたいことはありません。どうぞ皆さんの

若さが本当に大きく大きく成長する、そしてたくましくなる。そのことを心から期待申し上げ、今日こうして、本当に最後まで熱心にご討議いただきました皆様に、そして傍聴いただきました皆様に、心からお礼のごあいさつとさせていただきます。
　本当に今日は皆さん、ありがとうございました。

○沖本成海子ども議会議長
　菅市長さん、ありがとうございました。
　以上で、本日の日程は全て終了しましたので、今治市子ども議会を閉会します。